

北海道新幹線長万部駅自由通路基本設計 設計説明書

I、計画説明書

1、計画条件の整理

(1) 計画の目的

北海道新幹線長万部駅は令和12年度末開業を予定しているが、駅前周辺では、町道中山大通線から駅までのアクセス道路及び西口駅前広場、駅の東西を結ぶ自由通路が未整備である。東口駅前広場は基盤整備が十分とは言えず、バス交通等の結節性の充実が求められている。

これらの諸問題に対応するため、「新幹線周辺整備計画」「長万部まちづくりアクションプラン」を策定し、新幹線を核としたまちづくりを進めるための基本方針を定めている。

これらを実現するための整備方針として「長万部都市計画マスタープラン」「長万部バリアフリーマスタープラン」を策定し、今後、居住や都市機能を駅前周辺に誘導するために「長万部町立地適正化計画」を策定予定となっている。

基本設計業務は、令和12年度末の北海道新幹線長万部駅開業によって増加することが見込まれる交通需要や駅利用者の円滑な移動に対応できるための、東口と西口を結ぶ自由通路のあり方を示すことを目的とする。

(2) 計画地の概要

場所：北海道山越郡長万部町長万部

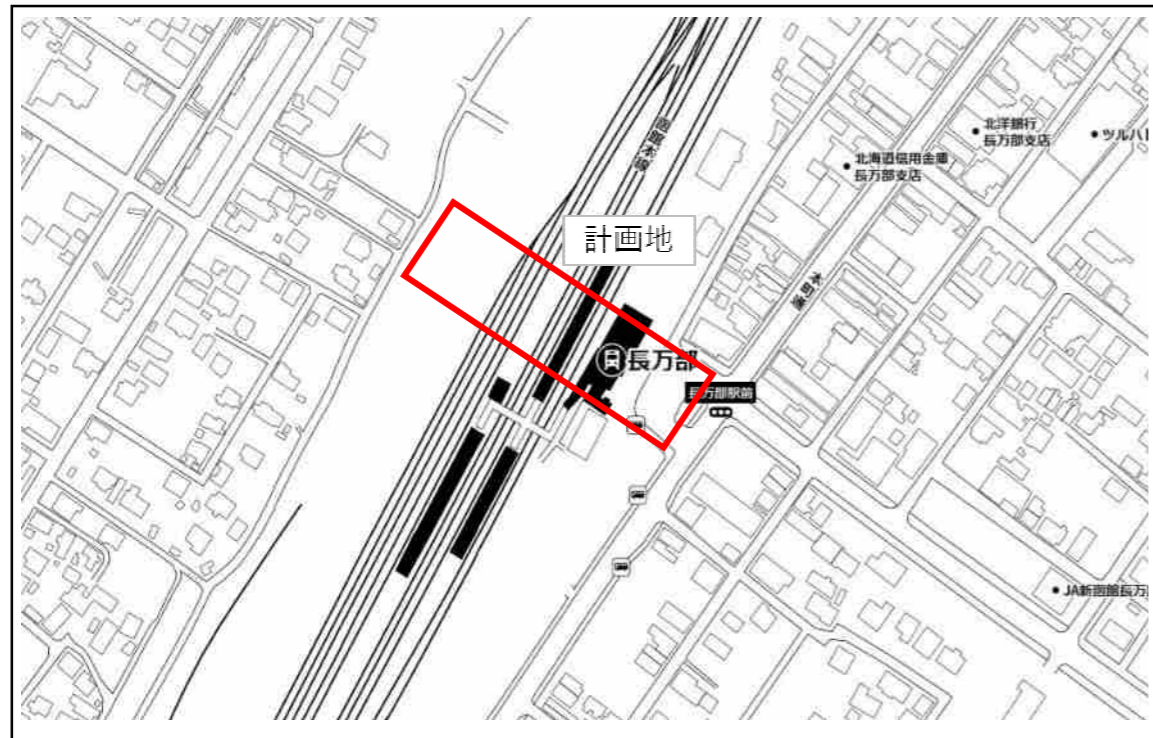


図1-1 周辺地図



図1-2 長万部都市計画図

用途地域	準工業地域、一部商業地域
容積率	200%、400%
建ぺい率	60%、80%
その他	準防火地域（商業地域） 日影規制なし

(3) 社会的条件の整理

- 都市計画法：都市計画区域内
- 前面道路：東口駅前広場
- 建築基準法：担当行政部局 北海道庁本庁建築指導課
自由通路を道路認定することを前提とした場合、建築基準法適用外。
但し、道路認定範囲外の部分（商用の通路、道路幅員の外側、滞留空間等）については北海道庁建築指導課と協議が必要となる。

○消防法 担当行政部局 長万部町消防本部予防係

防火対象物：事前の概要協議では、10項（停車場）もしくは15項（その他）

但し、新幹線駅舎、滞留空間、商業施設等、全体計画の具体的内容をもとに

防火対象物、別棟扱い等の協議が必要。

無窓階としない。鉄骨造準耐火建築物

[消防法]

項目	規定	条項
消火器	300㎡以上で必要	令10-1
屋内消火栓	1400もしくは2000㎡以上で必要	令11
自動火災報知設備	500もしくは1000㎡以上で必要	令21
誘導灯	地階、無窓階で必要	令26
非常警報器具	収容人数50人以上で必要	令24

○高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

・準拠する。

○北海道福祉のまちづくり条例

・準拠する。

○建築物省エネ法

・「建築物」に当たらないとして適用外。

2, 計画方針

(1) 基本方針

基本的考え方として以下の5点を基本方針とする

- ① 長万部の玄関口として利用者をもてなす、長万部らしい施設
- ② 町民による「デザインコンセプト」を活かした、町民に愛される施設
- ③ 単なる通路ではなく、隣接する施設と融合し、人々の活動を創出する施設
- ④ 新幹線駅舎、町営施設、民間施設と一体的に考えられた、調和がとれた施設
- ⑤ 災害時に安心、安全な機能を備えた施設

(2) 平面計画

1) 東口昇降棟

- ・自由通路の芯を旧JR長万部駅舎上に置く。
- ・東口広場をL字型に囲むA案、B案とI字型C案を検討する。
- ・施設南側の「まちの駅」と北側の「テナント施設」と一体となった動線計画とする。

2) 自由通路棟

- ・新幹線駅改札の壁面から死角のない位置に壁面を設置する。
- ・手すりの内法寸法を6mとする
- ・在来線ホームへの動線併設を今後検討する。

3) 西口昇降棟

- ・エレベーター、階段、エスカレーターの位置によりA案、B案、C案を検討する。
- ・地上部分は「滞留空間」として今後計画を進める。
- ・コンコースの範囲、機能は今後関係団体と協議を進める。

(3) 立断面計画、内外装計画

- ・東口昇降棟は、近接施設のデザインと連動・調和する計画とする。
- ・自由通路棟は、現代的なデザインとし、機能美を表現する。
- ・西口昇降棟は、新幹線駅舎と連続した計画とする。

(4) 環境負荷低減計画

- ・ハイサイドライトによる自然光の活用。
- ・庇を設置し、夏季の日射取得を低減する。

(5) 維持管理計画

- ・維持管理に配慮した内外装とする。
- ・EXPJを極力単純な形状とし、漏水のリスクを低減する。

(6) 東口昇降棟の平面案比較検討

比較項目	A案	B案	C案
<p>平面図</p>			
案の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・東口広場をL字型に囲む 	<ul style="list-style-type: none"> ・東口広場をL字型に囲む 	<ul style="list-style-type: none"> ・東口広場に対し正面に対峙する
まちへの展望	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・自由通路軸上に展望テラスを設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・自由通路軸上に展望テラスを設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・自由通路軸上に展望テラスを設ける
<p>動線</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由通路からの降口 降りた地上部 広場からの出入口 通路幅 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・視認しやすい ○ ・商業施設側 △ ・2か所のどちらがメインかわかりづらい ◎ ・確保しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・一旦テナント部を通過する ○ ・テナント施設、まちの駅側 ◎ ・メインは1か所 △ ・テナント施設が小さくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・一旦展望部を通過する ○ ・テナント施設側 ◎ ・メインは1か所 △ ・広場との寸法の検討が必要
<p>顔造り</p> <ul style="list-style-type: none"> 正面性 テナント施設視認性 立面 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・わかりにくい △ ・視認できない ○ ・複合的 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・わかりにくい △ ・視認できない ○ ・複合的 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・わかりやすい ○ ・視認できる ○ ・シンプル
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・省スペース 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・動線が長く、面積増 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・動線が長く、面積増
総合評価	◎	○	△

(7) 西口昇降棟の平面案比較検討

比較項目	A案	B案	C案
<p>平面図</p>			
<p>案の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンコースを1スパンとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンコースを2スパンとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンコースを3スパンとする
<p>まちへの展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・自由通路軸上に開口部を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・自由通路軸上に開口部を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・自由通路軸上に展望スペースを設ける
<p>動線</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・視認しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・視認しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・視認しやすい
<p>降りた地上部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・滞留空間 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・滞留空間 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・滞留空間
<p>広場からの出入口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・わかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・わかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・わかりやすい
<p>コンコース</p>	<ul style="list-style-type: none"> △ ・やや狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・余裕ある
<p>多目的利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> △ ・動線空間なので溜り空間が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・動線空間なので溜り空間が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・溜り空間を作れる
<p>経済性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・省スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・動線が長く、面積増
<p>道路認定下部の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・道路認定下部を避けて利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> △ ・道路認定下部の利用手続き必要
<p>総合評価</p>	<p>今後総合的に判断</p>	<p>今後総合的に判断</p>	<p>今後総合的に判断</p>

(8) 市民コンセプトへの対応

	コンセプト	対応
共通	湯煙香る噴火湾、人と時代の交差点	
	1 開放感のあるガラス張の駅造り	視線の制御とのバランスをとる
	2 噴火湾を望む誰もが楽しめる展望台の設置	展望スペース設置する
	3 天井を透明にし太陽光が注がれるようにする	自由通路にハイサイドライトを設置する
	4 温泉の温かみを感じられるような落ち着いた色調を使った駅舎	工事段階で色彩計画
	5 落ち着いた色味の地域の木材を活用した開放感のある駅	内装制限で可能な範囲に使用
	6 長万部町にマッチした木々に囲まれたデザインの駅舎	内装制限で可能な範囲に使用
	7 AI、IoTの積極的導入による利便性の追求	サイン、展示や広告での展開する
	8 バリアフリーを強化したユニバーサルデザイン駅	対応する
	9 インバウンドを意識したプラットフォーム作り	—
A案	10 誰もが共生できるダイバーシティ駅	—
	1 北海道の自然をイメージしたレトロな外観	屋根型等、形態的には困難
B案	2 古き良き長万部町の歴史を感じさせる滞留空間	—
	1 サスティナブルな駅舎の構築	メンテナンスがかからない仕様
C案	2 ガラス張の中に木材を活用	内装制限で可能な範囲に使用
	1 懐かしさを感じる景色を強調させた駅舎デザイン	周辺施設との関係で検討
滞留空間	2 温泉をイメージした温かな落ち着いた雰囲気の駅舎	周辺施設との関係で検討
	1 漁業の繁栄をイメージ	—
	2 町の特徴を最大限活かした温泉口、噴火湾口の出入口	—
	3 湯煙を感じる駅スポット	—
	4 機関車や魚箱やガラスの浮きをモチーフにしたコンコース	—
	5 太陽光溢れる天空に降臨する万華鏡の設置	—

3, 今後の検討必要項目

- 道路認定の計画手法の方向性確定
- 敷地境界線の確定
- 道路認定予定部分の図示

- 北海道庁と協議、確定
- ①建築基準法適用外の確認
- ②基準法に準ずる項目の確認（構造規定、避難規定）

- 長万部消防本部と協議、確定
- ①防火対象物の用途確定
- ②近接施設の別棟扱い
- ③防火区画、防炎区画
- ④滞留空間の防火対象物用途

- 東口広場のインフラ計画
- 西口広場のインフラ計画

- 鉄道運輸機構との協議
- ①滞留空間と駅舎の外壁仕上の連続性
- ②基礎の共有
- ③荷重等、設計検討の可能性

- まちの駅、再開発と自由通路の接続方法、デザインの統一

- 連絡会議の検討
- ・長万部町、機構、JR、再開発設計者、自由通路設計者のフラットな協議の場の検討

II、仕様概要書

1、建築計画

(1) 諸要機能の設定

1) 東口昇降棟

- ・ 出入口 : 広場正面と商業施設側に設置。
- ・ 通路 : 幅員6m、一部にまちの紹介スペース。
- ・ 階段 : 幅員4m。
- ・ エレベーター : 18人乗り、自転車対応。
- ・ エスカレーター : 幅員1m、往復。
- ・ 展望テラス : 市街地、海の見えるスペース。
- ・ 設備スペース : 受電、ピット内消火水槽。

2) 自由通路棟

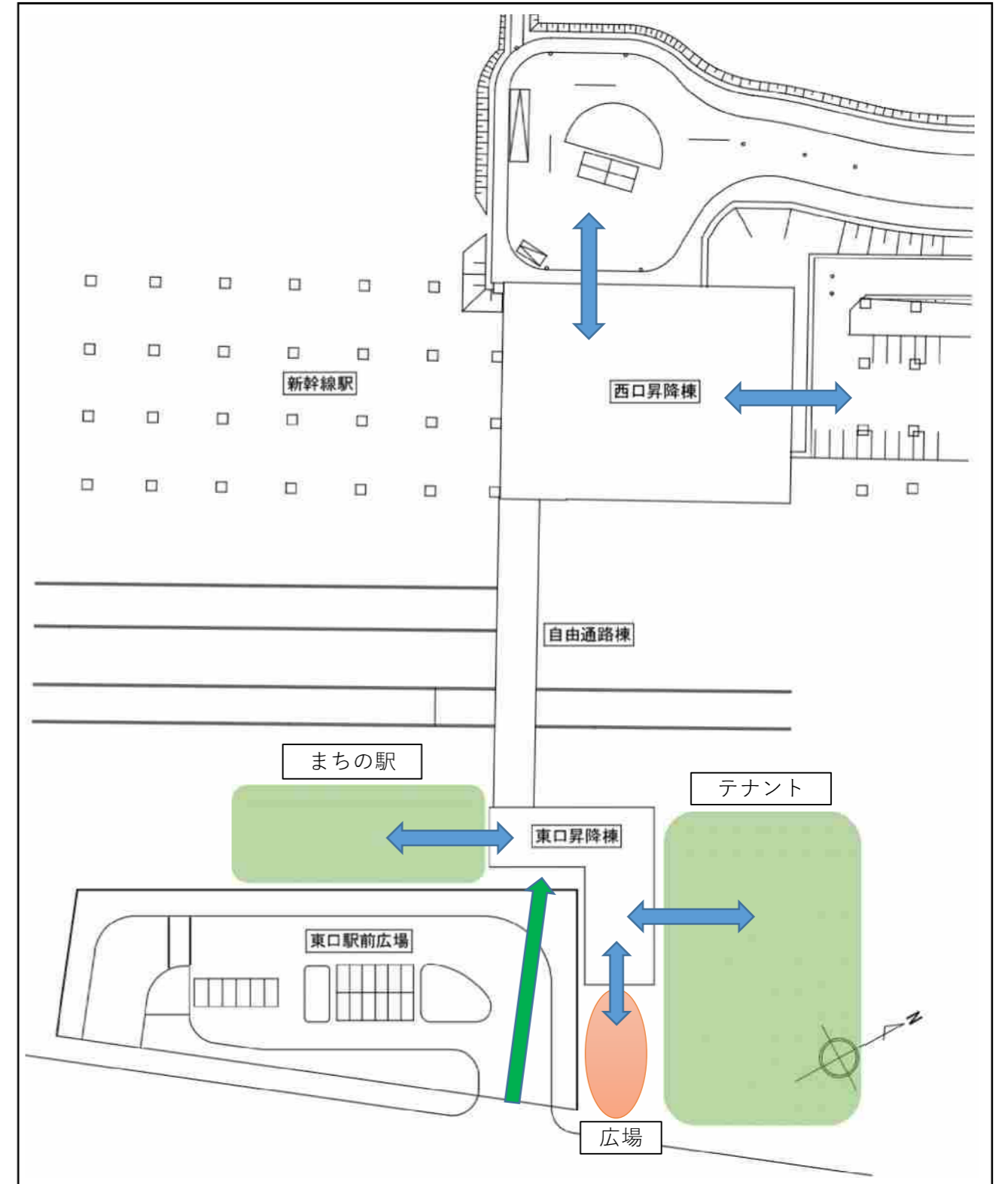
- ・ 通路 : 幅員6m

3) 西口昇降棟

- ・ コンコース : 一部に滞留スペース。温泉街、山の見えるスペース。
- ・ 階段 : 幅員4m。
- ・ エレベーター : 18人乗り、自転車対応。
- ・ エスカレーター : 幅員1m、往復。
- ・ 設備スペース : 盤関係置場。
- ・ 滞留空間 : 今回の計画外。防災拠点の検討。

(2) 配置計画

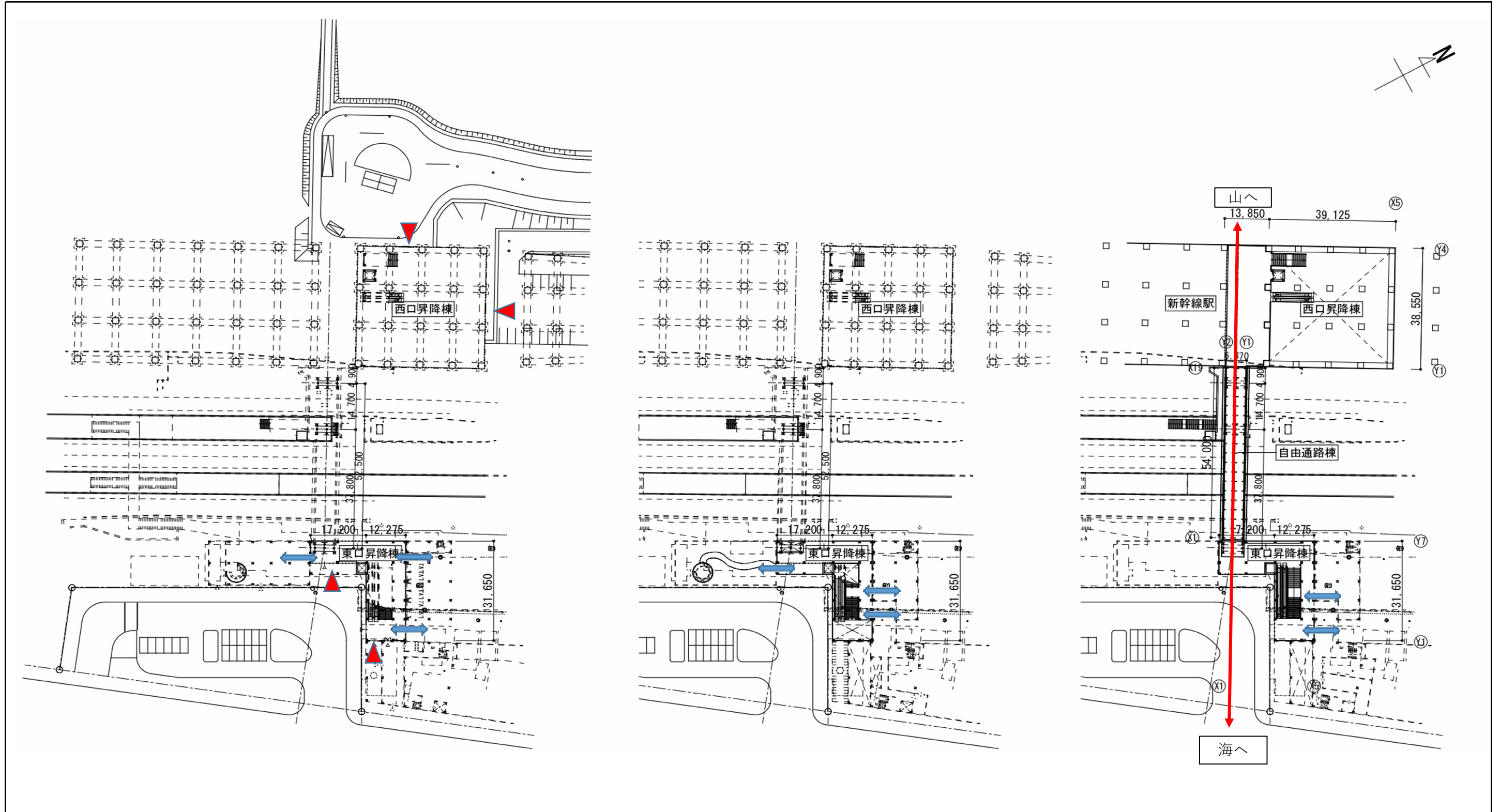
- ・ 東口駅前広場からの視認性に配慮し、正面出入口を東面に設ける
- ・ 南側「まちの駅」、北側の商業施設と連続した配置とする
- ・ 西口駅前広場、駐車場と連続した配置とする。



(3) 平面計画

- ・ 1階通路と「まちの駅」を連結する。
- ・ 2階通路、階段踊場とテナント施設を連結する。
- ・ 3階通路とテナント施設を連結する。

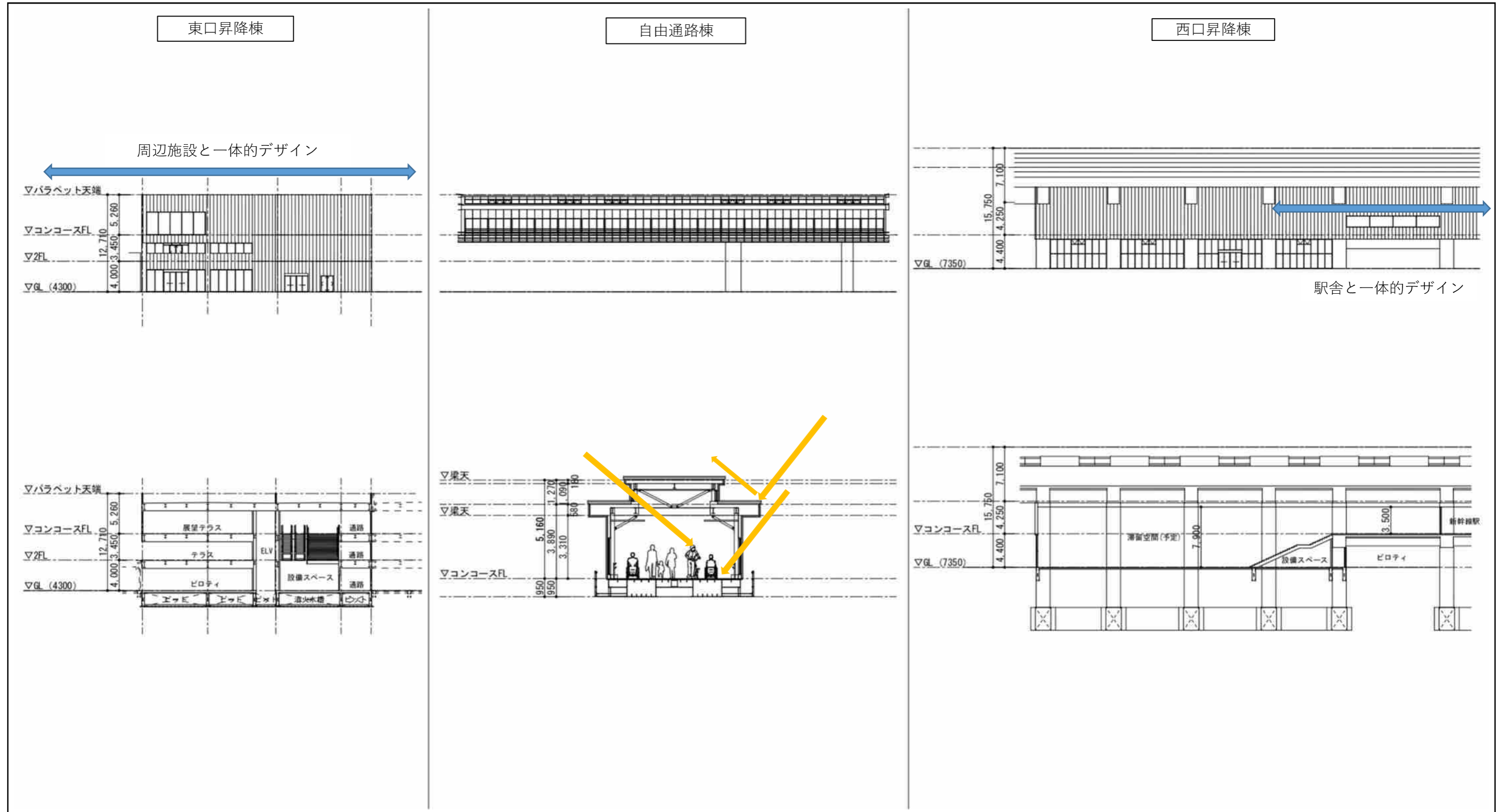
- ・ 自由通路棟から縦動線への視認性をわかりやすくする。
- ・ 自由通路棟の芯に合わせ、象徴的な展望テラスを設ける



(4) 立面・断面計画

- ・「まちの駅」、商業施設と一体的なデザインを検討していく。
- ・メンテナンスに配慮した長寿命材料を使用する。

- ・自由通路はハイサイドライトを設け、通風、排煙、自然採光に配慮する。
- ・自由通路は庇を設け、日射の制御を行う。



2、構造計画

(1) 構造計画の考え方

地震・台風・大雪等による災害時においても人命の安全を確保できると共に、財産としての価値を損なうことが無く「安心できる構築物」とする。デザイン性・機能性を損なうこと無く、経済性に配慮した構造体とする。

○構造体Ⅱ類

○建築非構造材A類

○建築設備乙類

(2) 基本方針

目標とする耐震性能は、「地震荷重に対するJSCA（社団法人日本建築構造技術者協会）性能メニューを参考として、不特定多数が利用する施設に適用されるべき「上級レベル」を想定して計画する。

○希に作用する地震（中地震）に対しては、機能保持と無被害・修復不要。

○きわめて希に作用する地震（大地震）に対しては、主要構造部の損傷は多少許容するが、建物倒壊及び外壁落下によって人命が損なわれる事がない。

(3) 架構計画

1) 東口昇降棟

- ・鉄骨造、3階建て。約9,000×7,000 の経済スパンとする。高さ11,45 L字型形状
- ・柱脚は建屋の変形を抑え、強度を高めるため露出柱脚とし、施工性と耐震性を確保する。
- ・大梁部材は、より多くの室内空間の確保と経済性を考慮し、中幅、細幅H形鋼とする。
- ・柱部材は、両方向ラーメン架構より角型鋼管を採用し、大地震に対する強度の確保と変形を抑制する。
- ・杭形式は、橋梁基礎と施工工程が連動する関係から、橋梁基礎杭に準ずる。

2) 自由通路棟

- ・鉄骨造、平屋。スパンは3,000×6,000 とし、柱を小径に勤め、空間を大きく確保できるようにする。
- ・丸鋼の斜材を設け、架構の振れ止めとする。
- ・主架構より束立を行い、ハイサイドライト部分を立ち上げる。

3) 西口昇降棟

- ・主架構は、新幹線駅構造体とする。
- ・エレベーター、エスカレーター、階段は、鉄骨造の自立型とする。
- ・外壁・サッシは、新幹線駅の外壁に準じて同材を延長する。
- ・コンコース床の範囲、構造については鉄道・運輸機構と協議を進める。
- ・滞留空間の床形式（土間、スラブ、ピット等）は滞留空間の基本設計を進める。

3、エレベーター、エスカレーター計画

(1) エレベーター

機種： 機械室レスエレベーター

用途： 乗用

積載量： 1200kg

定員： 18人

かご内寸法：1400W 2000D 2350H

動力用電源：AC3φ-200V-50Hz

(2) エスカレーター

型名： ステンレスHLパネル

幅員： 1004mm

運転速度：30m/min

傾斜角度：30度

4、電気設備計画

(1) 電気設備計画の基本方針

基本的な考え方として、信頼性が高く、快適で使いやすく、経済性にすぐれ、バランスのとれた電気設備計画とする。

① 快適な視環境

照明計画は、道路としての機能を最優先し、かつ空間演出にフレキシブルに対応できるように配慮する。

② 安全性

事故が起こりにくい機器選定を行う。特に照明器具の電球等の飛散防止を考慮した汎用器具を選定する。

③ 省エネルギー化

照明はLED照明器具を主体とし、器具効率・ランプ寿命ともアップして、維持費の低減を図る。

④ 情報化への対応

まちの広報や商業広告に対応出来るよう、配管スペースを確保する。

(2) 電気設備概要

1) 電灯設備

- ・屋内照明は各所必要照度を確保した照明計画とする。
- ・照明の点滅方式は、リモコンスイッチによるグループ制御及び、プログラムタイマーによるパターン制御とする。

2) コンセント設備

- ・コンセントは使用目的及び用途・容量に応じて必要数を設置する。

3) 防災照明設備

- ・防災照明設備は、関係諸法規に従い誘導灯及び非常照明を設置する。

4) 動力設備

- ・動力機器用電源（エレベーター・エスカレーター等）を必要とする各機器までの配管配線を行う。

5) 幹線設備

- ・受変電設備の電灯・動力低圧盤より、各電灯盤及び動力盤への電源供給を行う。

6) 受変電設備

- ・東口昇降棟の電気室に屋内型キュービクル受変電設備(4面体)を設置し、高圧6.6kVで受電し1相100/200V・3相200Vに変電する設備とする。
- ・変電設備容量(変圧器)は、施設内の使用機器容量を確認の上決定する。

7) ITV・防犯・弱電設備

- ・施設内の防犯用にカメラを設置する。モニターテレビ設置場所を協議し、約30日間記録できるハードディスクを設置する。
- ・施設内の必要な箇所に電話、情報用配管配線を行う。

8) 消防法(長万部町消防確認)により、自動火災報知設備を設置する。

9) 構内配電線路設備

- ・構内柱より受変電設備への高圧電力供給線路及び、構内柱へ高圧気中負荷開閉器(PAS)を設置し、電力量計を取付ける。

10) 構内通信線路設備

- ・情報通信及び電話用の管路を構内柱より施設内の保安器端子盤に地下埋設配管にて設置する。(FEP40)×3本

5、機械設備計画

(2) 機械設備概要

1) 暖房設備

- ・通路空間の暖房は無しとする。夏季は自然換気により室温上昇を抑制する。
- ・屋内消火栓ポンプ等の給水部分は、凍結防止対策として電気パネルヒーターを設備する。
- ・ピロティ等の床ヒーティングを検討する。

2) 換気設備

- ・各室の必要換気量に応じて天井換気扇・排風機・送風機等を設置する。
- ・消火ポンプスペース：送風機・排風機（湿度センサーで連動発停）
- ・電気設備スペース：排気用有圧換気扇・給気用有圧換気扇（温度センサーにて連動発停）
- ・倉庫：排気用有圧換気扇・天井埋込換気扇（給気用レターンパス）

3) 給水設備

- ・使用する給水源は、町給水管より分岐接続し建物内に敷設する給水管で衛生器具（SK流し・散水栓等）に供給する。

4) 排水設備

- ・屋内汚水排水（SK流し等）は、配管にて屋外排水桝に導き、町下水本管に接続する。
- ・屋根面の雨水排水は、配管にて屋外排水桝に導き外構工事で敷設する雨水枡に接続する。

5) 衛生器具設備

- ・東口昇降棟下部設備スペースに衛生器具（SK流し等）を設置する。
- ・屋外散水栓を必要に応じ検討する。

6) 消火設備

- ・消防法に準じ、屋内消火栓設備を設置する。
- ・新設消火ポンプユニットより屋内消火栓へ配管にて水源を供給する。
- ・屋内消火栓：広範囲型 2号消火栓
- ・屋内消火栓ポンプユニット：50 A × 180 ㎥/min × 75 m × 7.5 kw（3φ200V）
- ・消火水槽：有効容量 3.2 m³以上
- ・消火管には凍結防止を考慮して、管上テーパーヒーターを敷設（自己制御型）

III、仕上概要表

外部仕上表

外壁	アルミパネル焼付塗装、今後周辺施設との連続で化粧ルーバー等検討	屋根	シート防水、硬質ウレタンフォームt50
腰壁	コンクリート打ち放し補修 吹付タイル	笠木	アルミ笠木(雪庇防止タイプ)
柱型	アルミパネル焼付塗装	軒天	アルミスバンドレル

内部仕上表

	室名	床		巾木	壁		天井				柱型・鉄骨部材	備考
		下地	仕上		下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	天井高		
東口昇降棟	1階	モルタルコテ	磁器質300角タイル、一部点字タイル300角貼 (一部床ヒーティング検討)	プレートt12 WUP	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	アルミ焼付目スカシ	2,900	一部鉄骨表しSOP	床点検口・天井点検口・消火栓 手摺・ピット内タラップ
	2階	コンクリートコテ	長尺塩ビシート、一部点字タイル300角貼	プレートt12 WUP	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	アルミ焼付目スカシ	2,400	一部鉄骨表しSOP	手摺・天井点検口・消火栓
	コンコース階	モルタルコテ	磁器質300角タイル、一部点字タイル300角貼 エキスパントジョイント金物:床タイル仕上仕様	プレートt12 WUP	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	アルミ焼付目スカシ	3,000	一部鉄骨表しSOP	手摺・天井点検口・消火栓 排煙オペレーター
	階段	コンクリートコテ	磁器質タイル	プレートt12 WUP	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	アルミ焼付目スカシ	—	一部鉄骨表しSOP	手摺・ノンスリップ
	設備スペース(機械)	コンクリートコテ	コンクリートコテ防塵塗装	ビニル巾木 H-100	LGS W100	押出成形セメント板t60 石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5目地	塩ビ見切縁	—	一部鉄骨表しSOP	天井点検口・SKライニング・床マンホール
	設備スペース(電気)	コンクリートコテ	コンクリートコテ防塵塗装	ビニル巾木 H-100	LGS W100	押出成形セメント板t60 石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、けい酸カルシウム版t6	塩ビ見切縁	—	一部鉄骨表しSOP	
	EVシャフト	コンクリートコテ	ピット内コンクリートコテ浸透性塗膜防水			押出成形セメント板t60 石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6				—		
自由通路棟	自由通路	モルタルコテ	磁器質300角タイル、一部点字タイル300角貼 エキスパントジョイント金物:床タイル仕上仕様	磁器質タイル貼 H-100	LGS W100	施彩けい酸カルシウム版t6	LGS	アルミバー(木目調)40×60@300、 SOP(天井内部鉄骨部、デッキプレート面)、岩綿吸音板t9	アルミ焼付目スカシ	4,630	一部鉄骨表しSOP	手摺・天井点検口・消火栓
			エキスパントジョイント金物:アルミ	ステンレス巾木 H-60	LGS W100	SOP(鉄骨見掛け部)						排煙オペレーター
						一部鉄骨表しSOP						
西口昇降棟	1階滞留空間(仮)	モルタルコテ	磁器質300角タイル、一部点字タイル300角貼	プレートt12 WUP	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	塩ビ目スカシ	7,900		床点検口・天井点検口・消火栓 消火器収納箱・手摺・ピット内タラップ
	コンコース階	モルタルコテ	磁器質300角タイル、一部点字タイル300角貼 エキスパントジョイント金物:床タイル仕上仕様	プレートt12 WUP	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	塩ビ目スカシ	3,500		手摺・天井点検口・消火栓 排煙オペレーター
	階段	モルタルコテ	磁器質タイル	プレートt12 WUP		石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、岩綿吸音板t9	塩ビ目スカシ	—		手摺・ノンスリップ
	倉庫	コンクリートコテ	コンクリートコテ防塵塗装	ビニル巾木 H-100	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、けい酸カルシウム版t6	塩ビ見切縁	—		床点検口・天井点検口・SKライニング
	設備スペース	コンクリートコテ	コンクリートコテ防塵塗装	ビニル巾木 H-100	LGS W100	石膏ボードt9.5、けい酸カルシウム版t6	LGS	石膏ボードt9.5捨貼、けい酸カルシウム版t6	塩ビ見切縁	—		床点検口・天井点検口
	EVシャフト	コンクリートコテ	ピット内コンクリートコテ浸透性塗膜防水			押出成形セメント板t60 一部けい酸カルシウム版t6						

IV、工事費概算書

建築主体工事					電気設備工事		機械設備工事		
東口昇降棟		自由通路棟		西口昇降棟（1階滞留空間を含まない）					
1352.9	m ²	374.1	m ²	626.7	m ²				
直接仮設工事	14,000,000	直接仮設工事	4,094,000	直接仮設工事	7,853,000	電灯設備	9,240,000	換気設備	1,100,000
土工事	8,682,000	土工事	—	土工事	6,718,000	防災照明設備	4,340,000	屋外給水設備	500,000
地業工事	12,400,000	地業工事	—	地業工事	8,320,000	コンセント設備	490,000	屋内給水設備	450,000
コンクリート工事	34,281,000	コンクリート工事	6,072,000	コンクリート工事	8,687,000	幹線設備	7,270,000	屋外排水設備	1,920,000
鉄筋工事	16,330,000	鉄筋工事	2,892,000	鉄筋工事	4,138,000	動力設備	1,660,000	屋内排水設備	1,430,000
鉄骨工事	140,320,000	鉄骨工事	58,480,000	鉄骨工事	9,120,000	受変電設備	9,970,000	消火設備	5,900,000
外装工事	31,228,000	外装工事	9,545,000	外装工事	1,890,000	弱電設備	11,920,000		
防水工事	6,443,000	防水工事	5,137,000	防水工事	—	火災報知設備	5,550,000		
タイル工事	10,823,000	タイル工事	3,164,000	タイル工事	6,069,000	構内配電線路設備	2,040,000		
金属工事	8,927,000	金属工事	5,219,000	金属工事	5,006,000	構内通信線路設備	610,000		
左官工事	3,760,000	左官建具工事	1,099,000	左官製建具工事	2,108,000				
金属製建具工事	37,797,000	金属製建具工事	76,931,000	金属製建具工事	2,800,000				
ガラス工事	1,400,000	ガラス工事	1,841,000	ガラス工事	280,000				
塗装工事	1,347,000	塗装工事	1,477,000	塗装工事	755,000				
内装工事	27,155,000	内装工事	12,415,000	内装工事	3,793,000				
ELV・ESC工事	100,438,000			ELV・ESC工事	83,420,000				
直接工事費	455,331,000	直接工事費	188,366,000	直接工事費	150,957,000	直接工事費	53,090,000	直接工事費	11,300,000
共通仮設費	16,028,000	共通仮設費	7,327,000	共通仮設費	6,008,000	共通仮設費	2,144,000	共通仮設費	555,000
現場管理費	44,356,000	現場管理費	24,892,000	現場管理費	21,442,000	現場管理費	9,279,000	現場管理費	2,649,000
一般管理費	55,956,000	一般管理費	26,537,000	一般管理費	21,962,000	一般管理費	8,412,000	一般管理費	2,116,000
工事価格	571,671,000	工事価格	247,122,000	工事価格	200,369,000	工事価格	72,925,000	工事価格	16,620,000
消費税(10%)	57,167,100	消費税	24,712,200	消費税(10%)	20,036,900	消費税(10%)	7,292,500	消費税(10%)	1,662,000
工事費	628,838,100	工事費	271,834,200	工事費	220,405,900	工事費	80,217,500	工事費	18,282,000

建築主体工事価格合計	1,019,162,000
消費税(10%)	101,916,200
工事費	1,121,078,200

V、イメージパース 東口昇降棟A案 (1)



▲斜めからの鳥瞰



▲正面からの鳥瞰

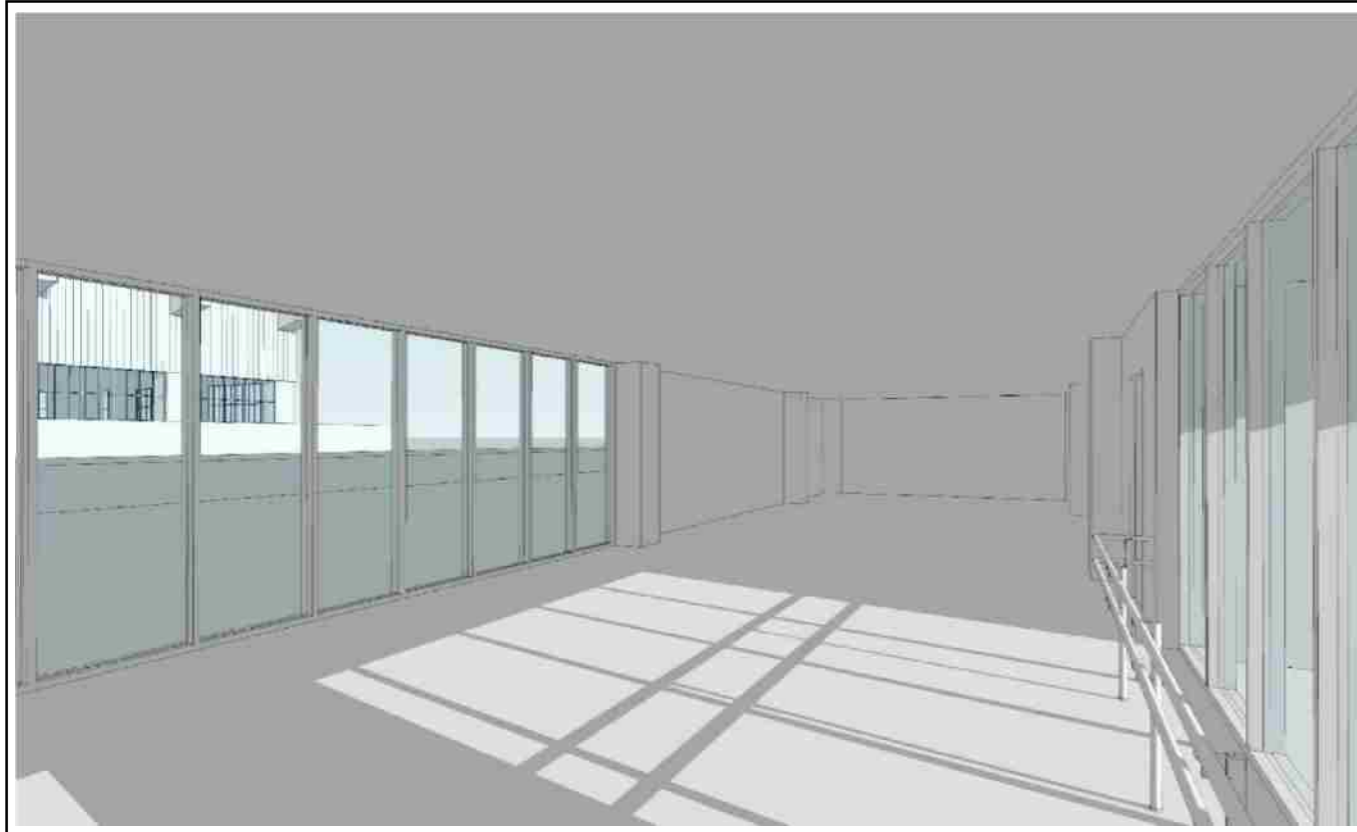


▲アイレベル 広場からの全景

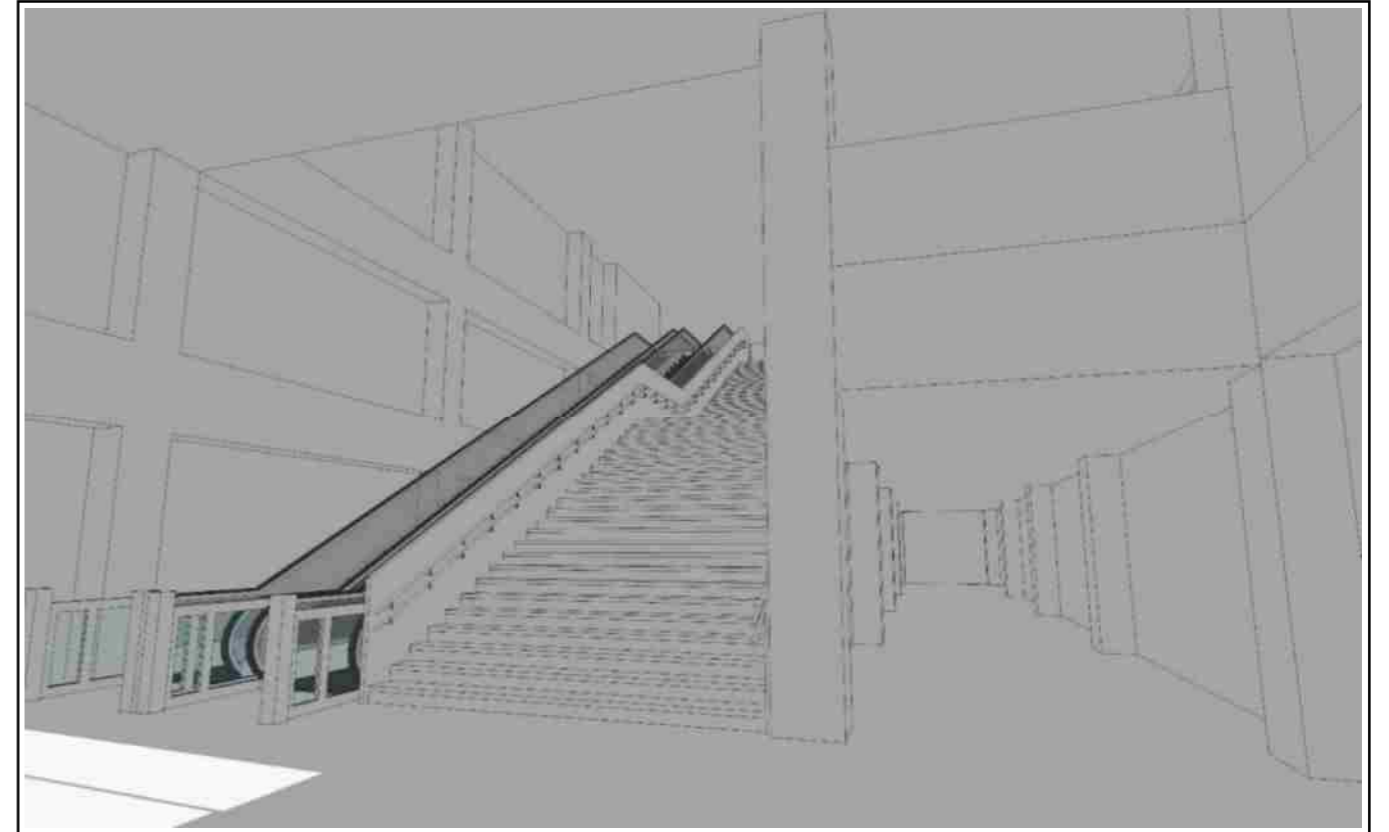


▲アイレベル 正面からの全景

V、イメージパース 東口昇降棟A案 (2)



▲ 1階 エントランスからの線路の眺め



▲ 1階 階段と通路の眺め

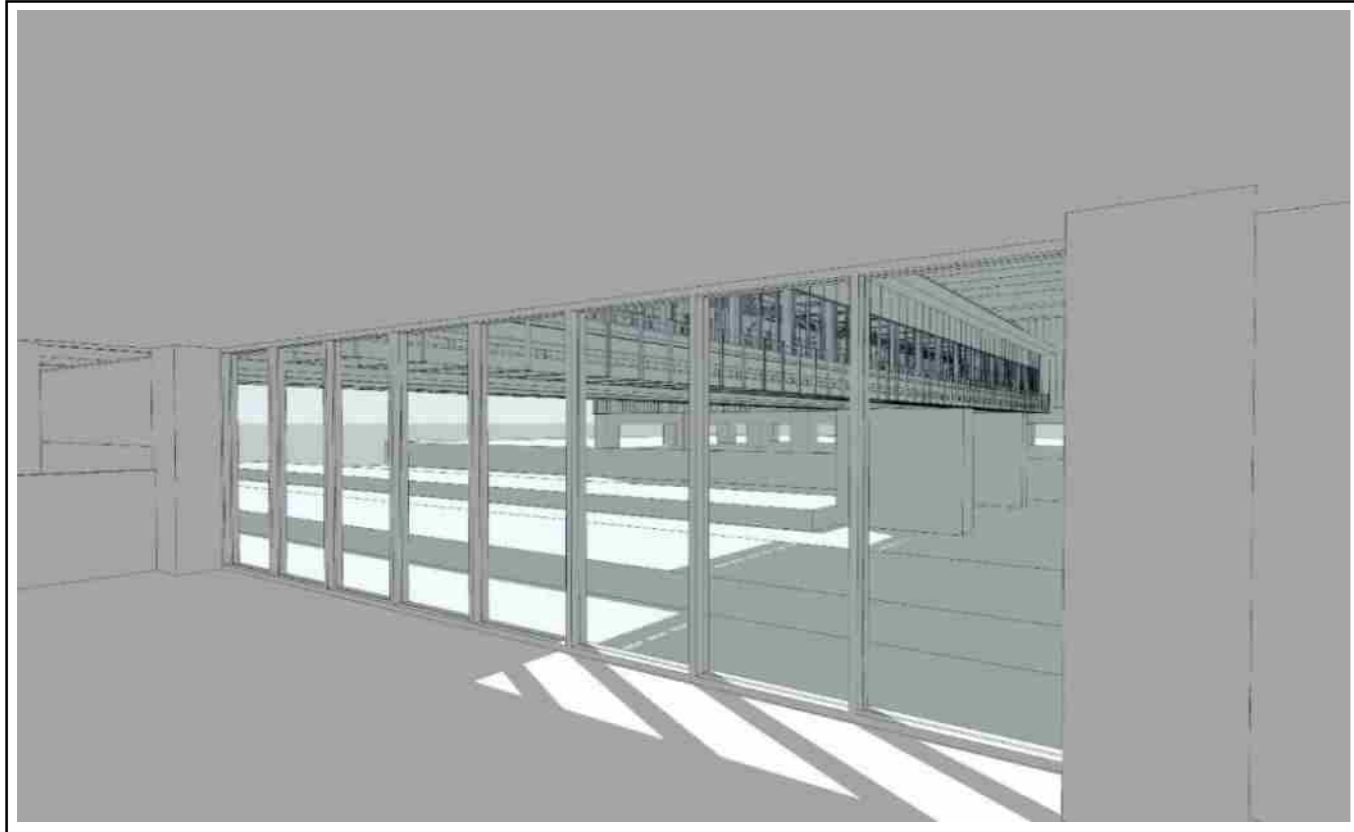


▲ 1階 階段正面

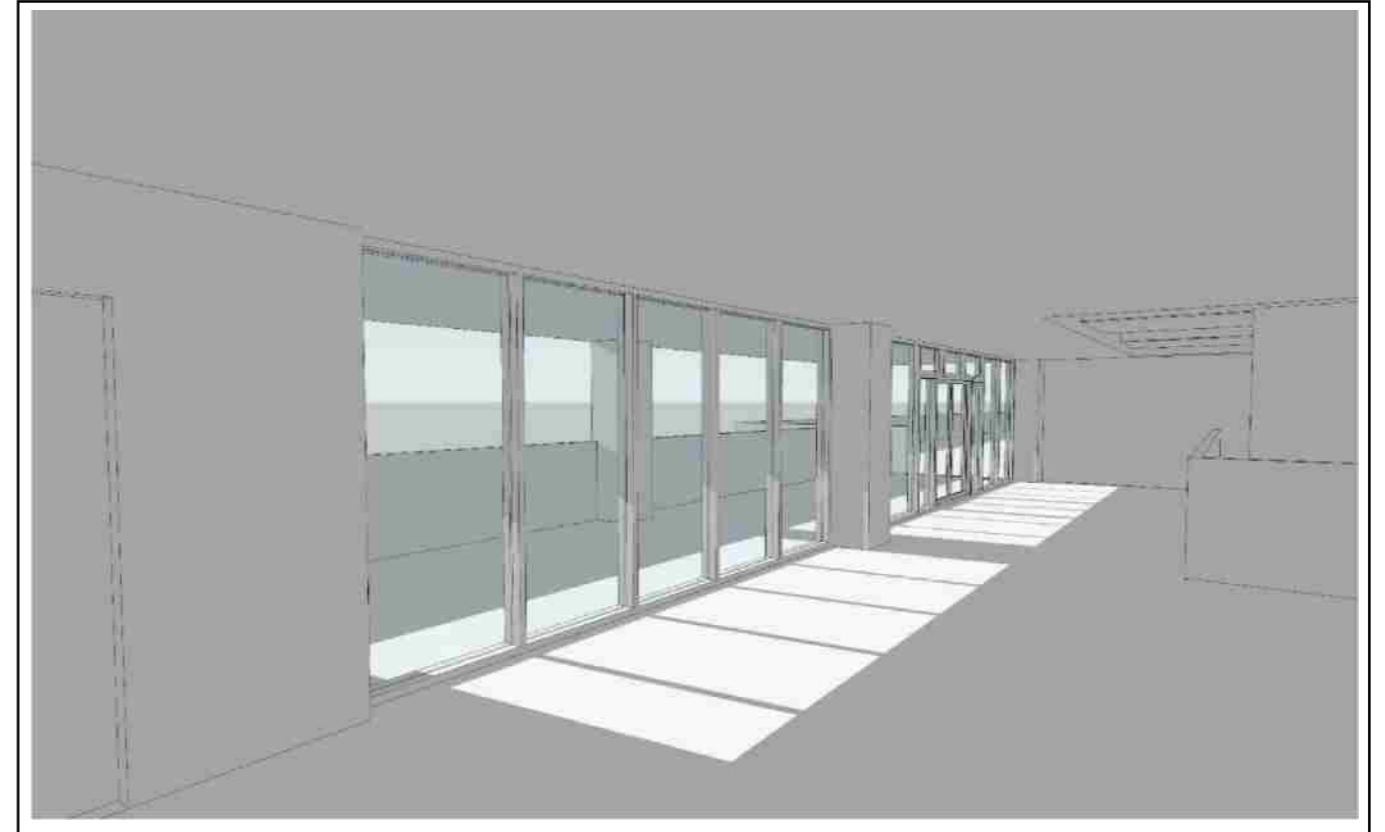


▲ 2階 1階を覗く

V、イメージパース 東口昇降棟A案 (3)



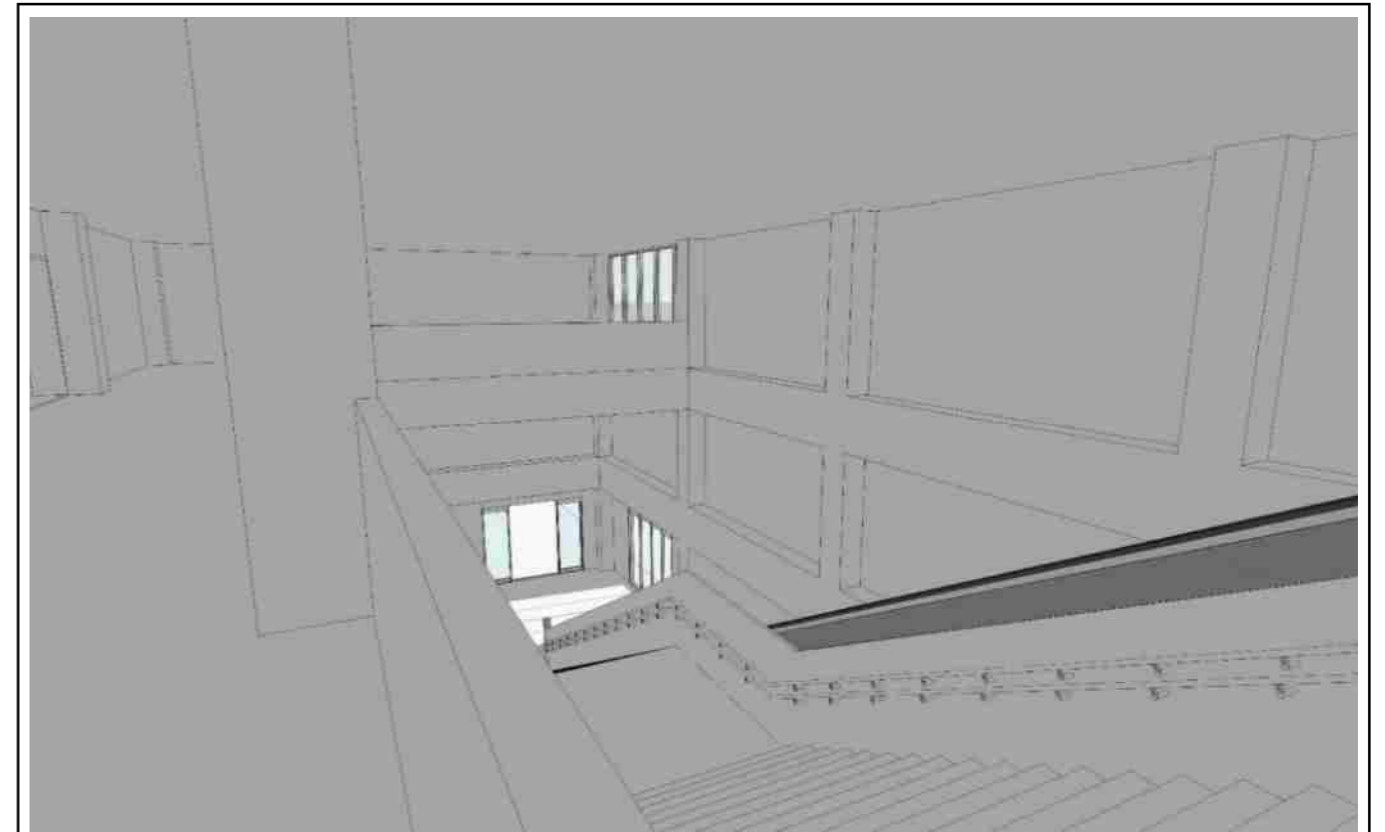
▲ 2階 窓越しの自由通路棟と線路の眺め



▲ 2階 テラス側の窓を見る

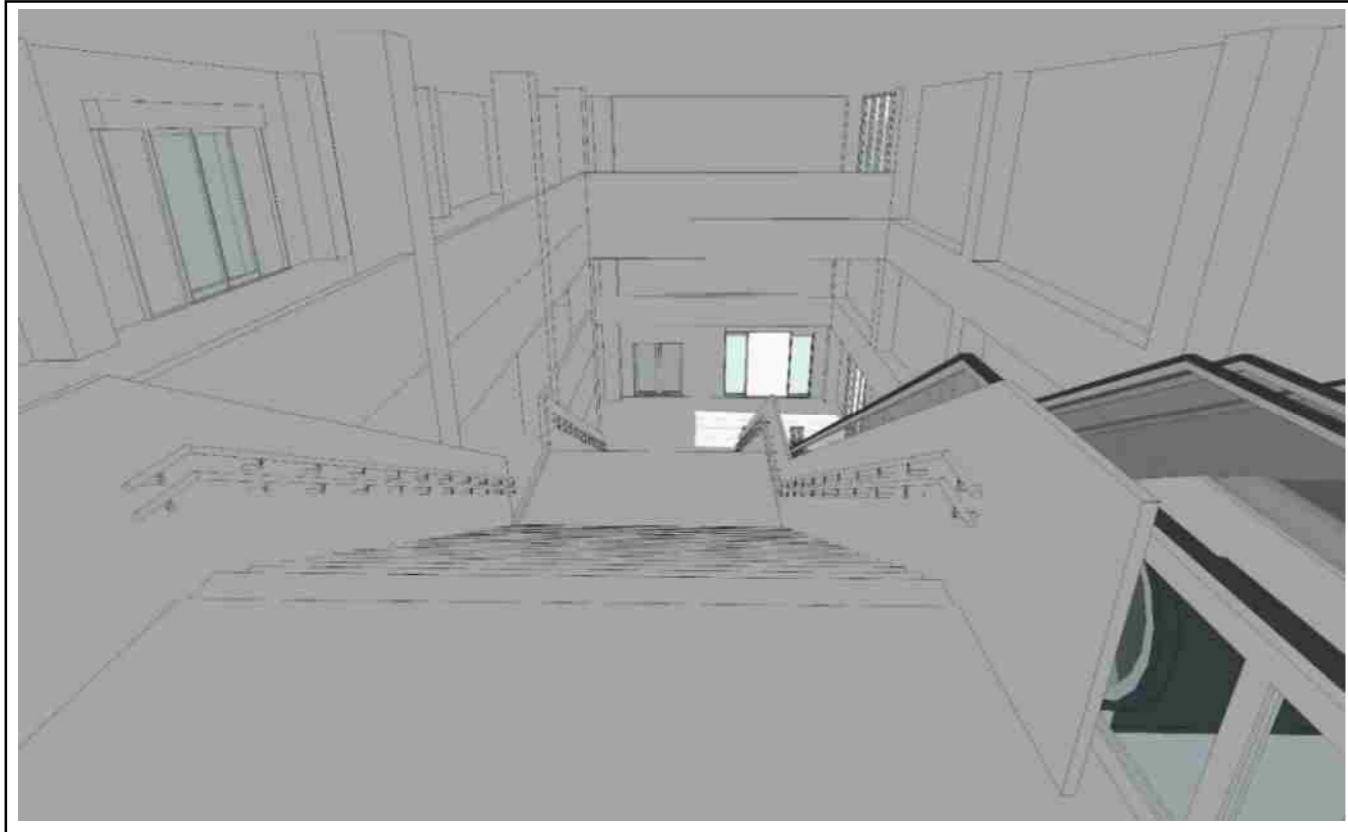


▲コンコース階 廊下眺め

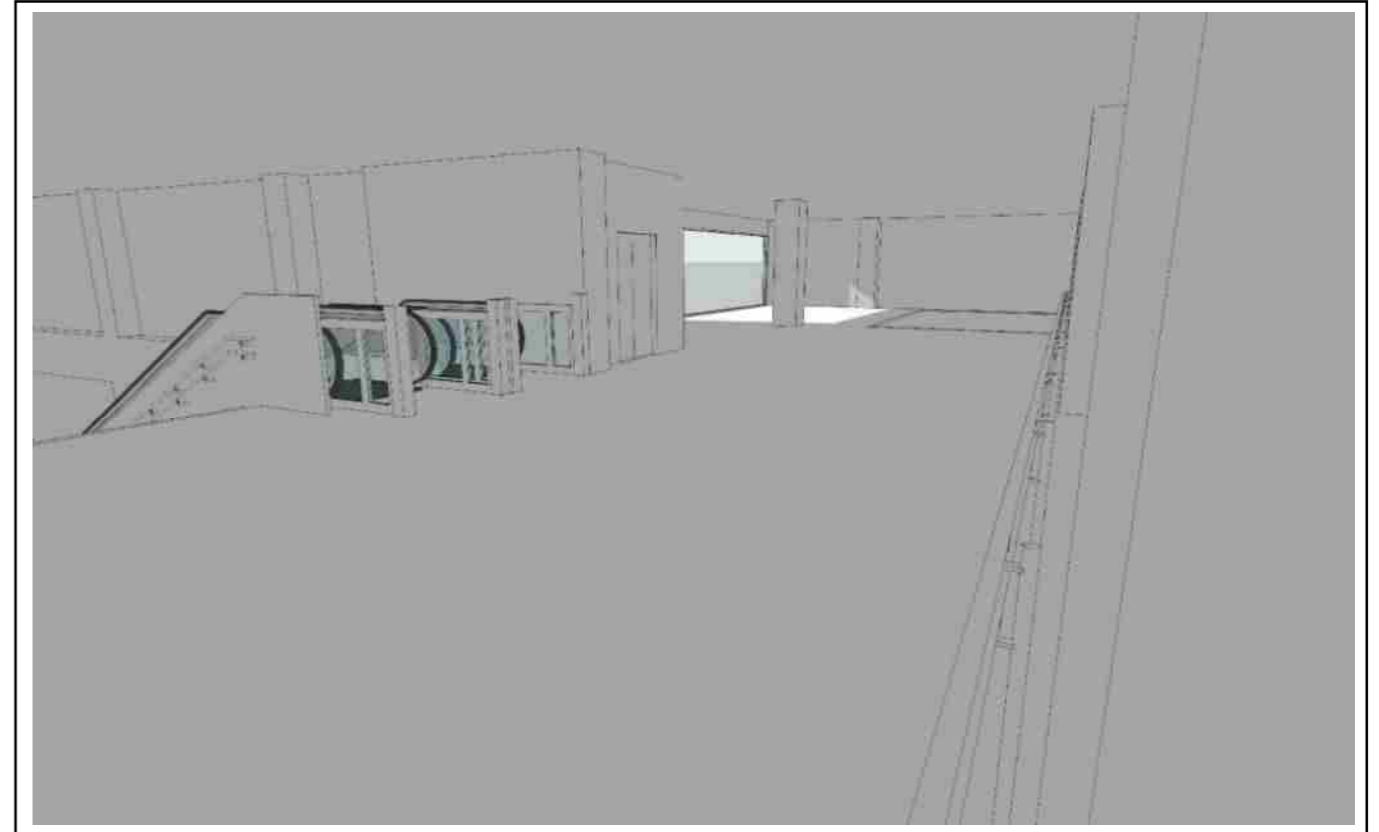


▲コンコース階 1階を見下ろす

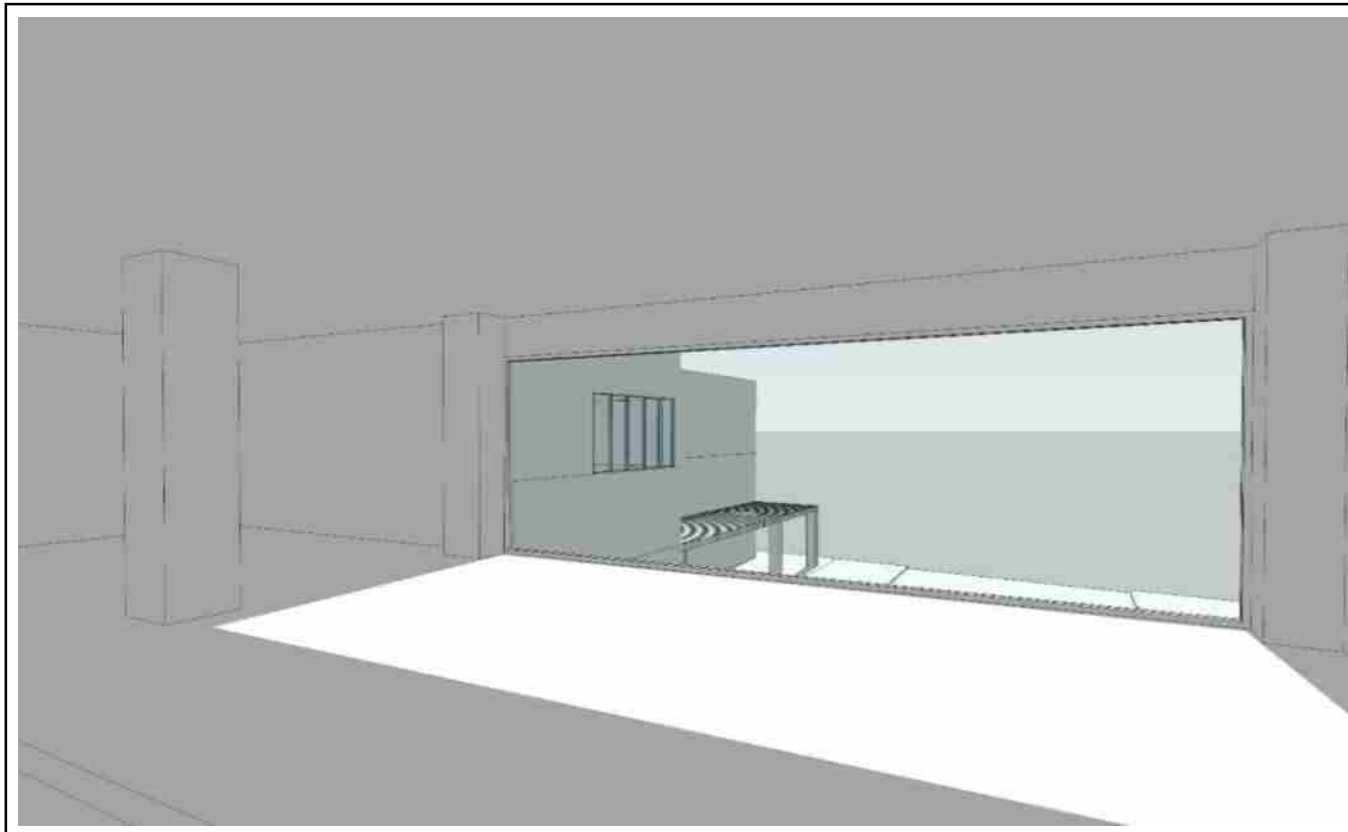
V、イメージパース 東口昇降棟A案 (4)



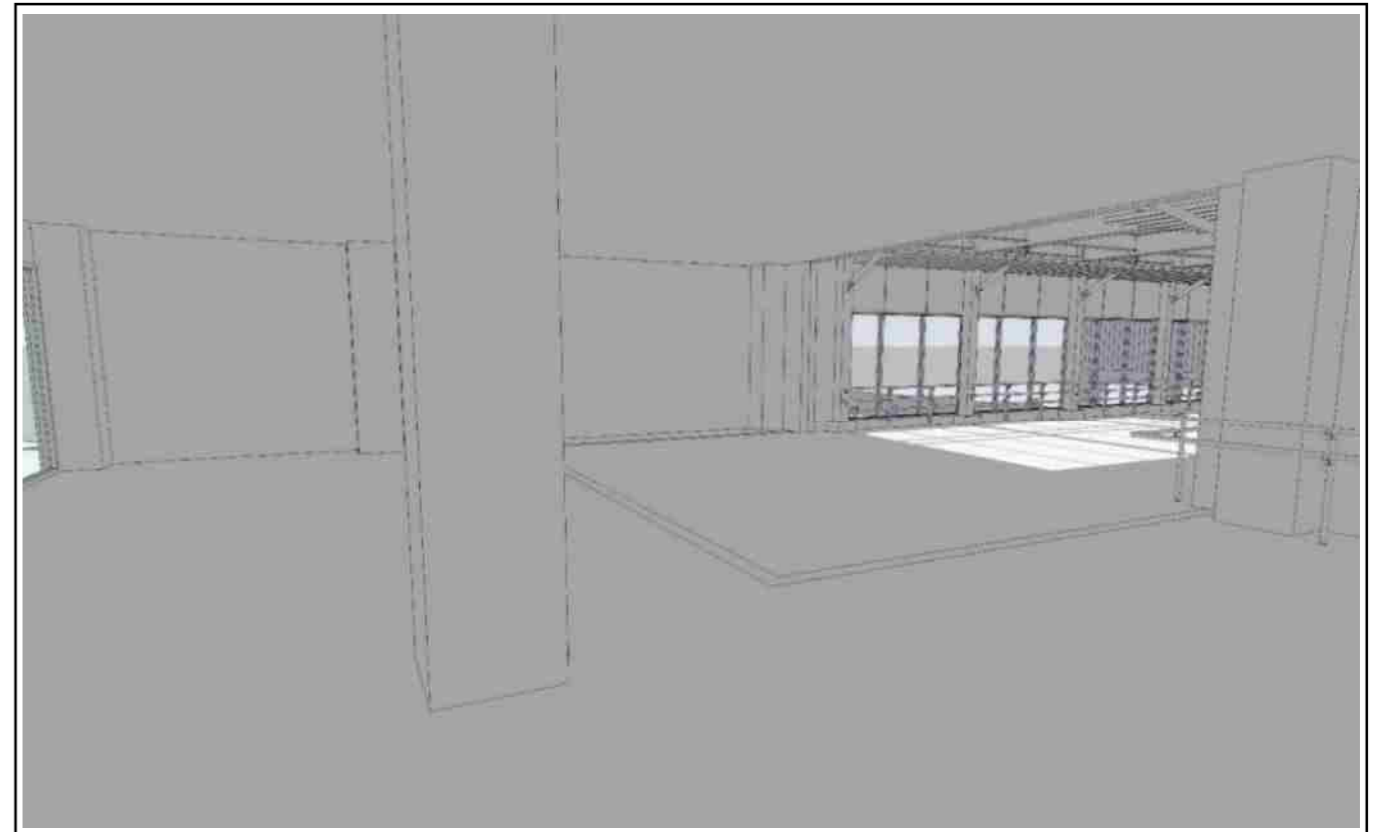
▲コンコース階 階段正面からの1階の眺め



▲コンコース階 展望テラス側を眺める

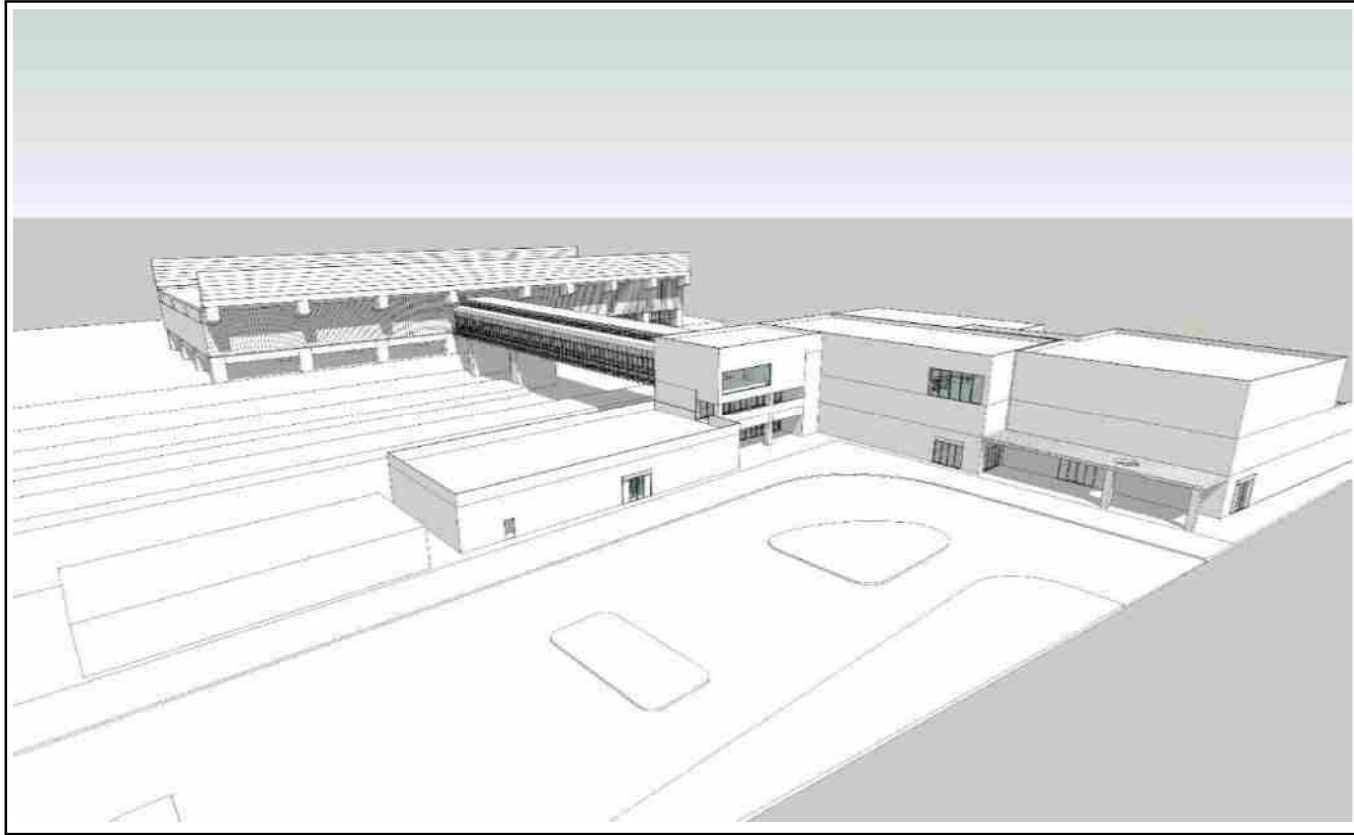


▲コンコース階 展望テラスから東口広場を眺める

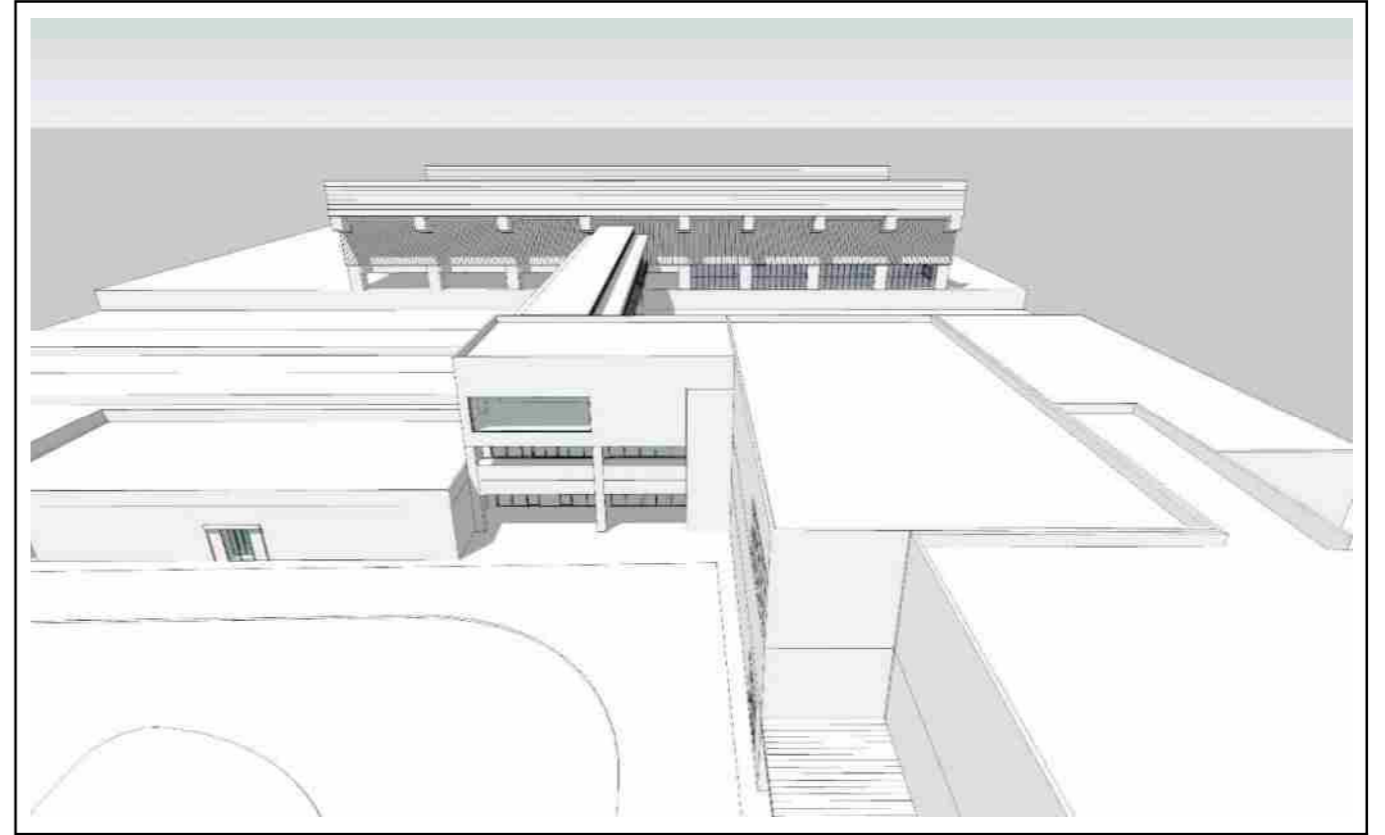


▲コンコース階 展望テラスから柱と自由通路の眺め

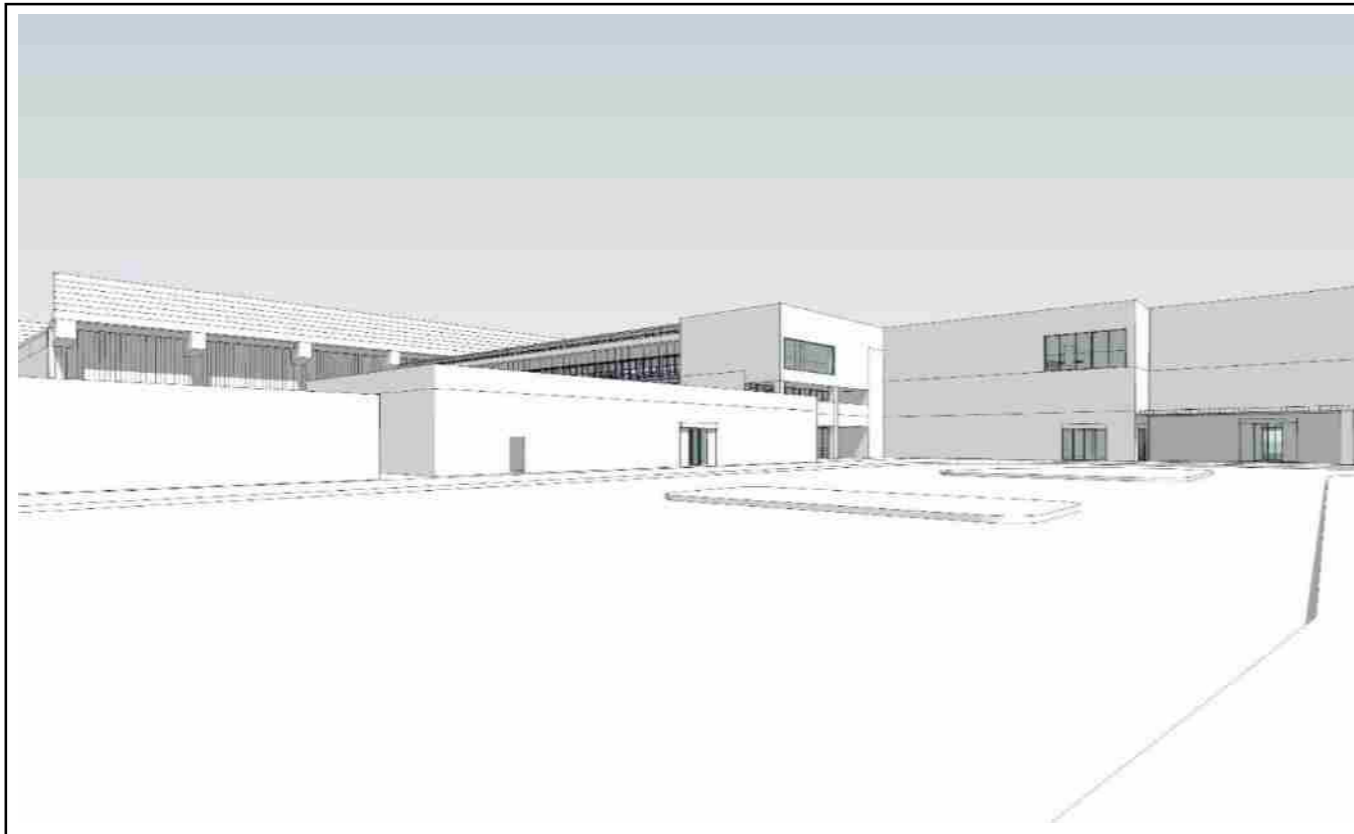
V、イメージパース 東口昇降棟B案 (1)



▲斜めからの鳥瞰



▲正面からの鳥瞰



▲アイレベル 広場からの全景

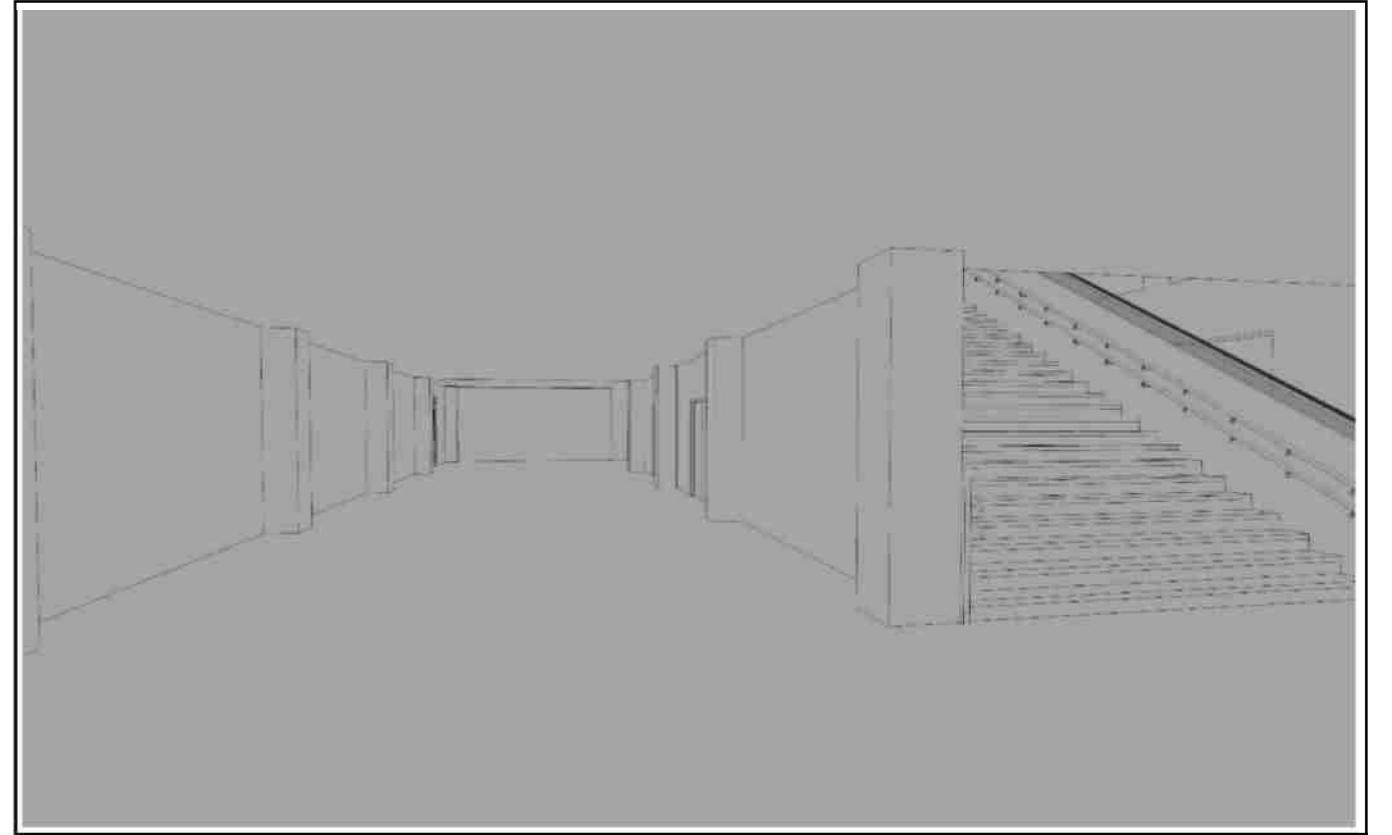


▲アイレベル 正面からの全景

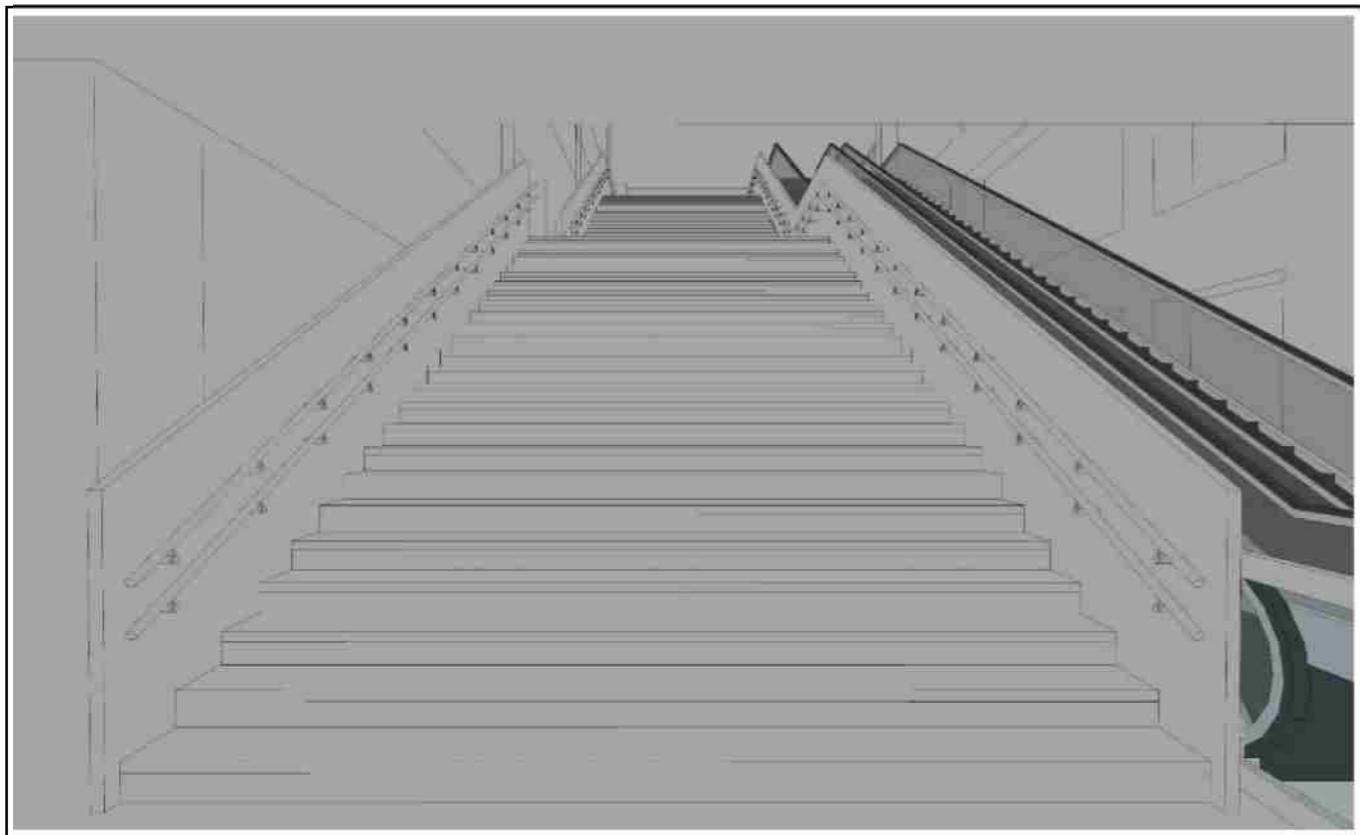
V、イメージパース 東口昇降棟B案 (2)



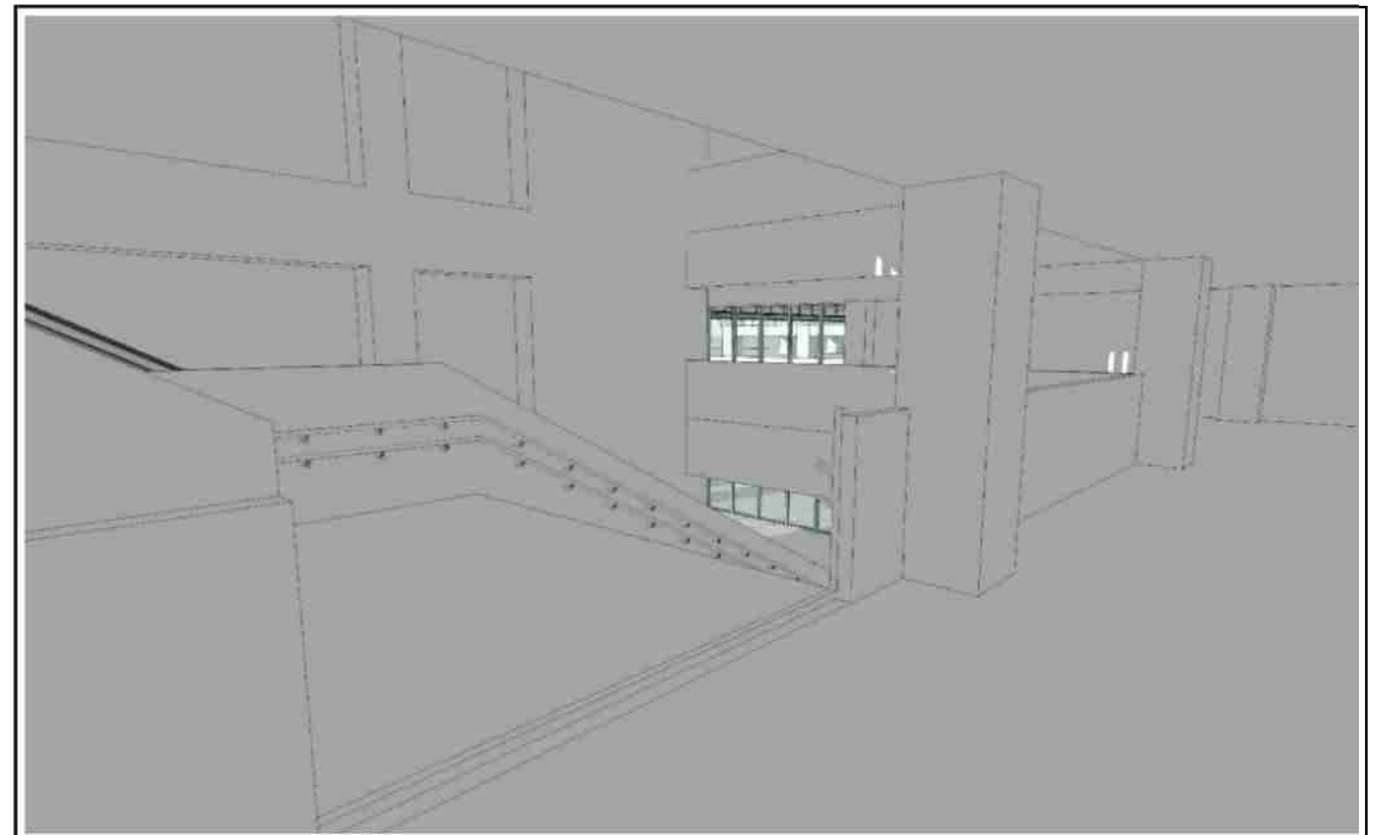
▲ 1階 エントランスからの線路の眺め



▲ 1階 階段と通路の眺め

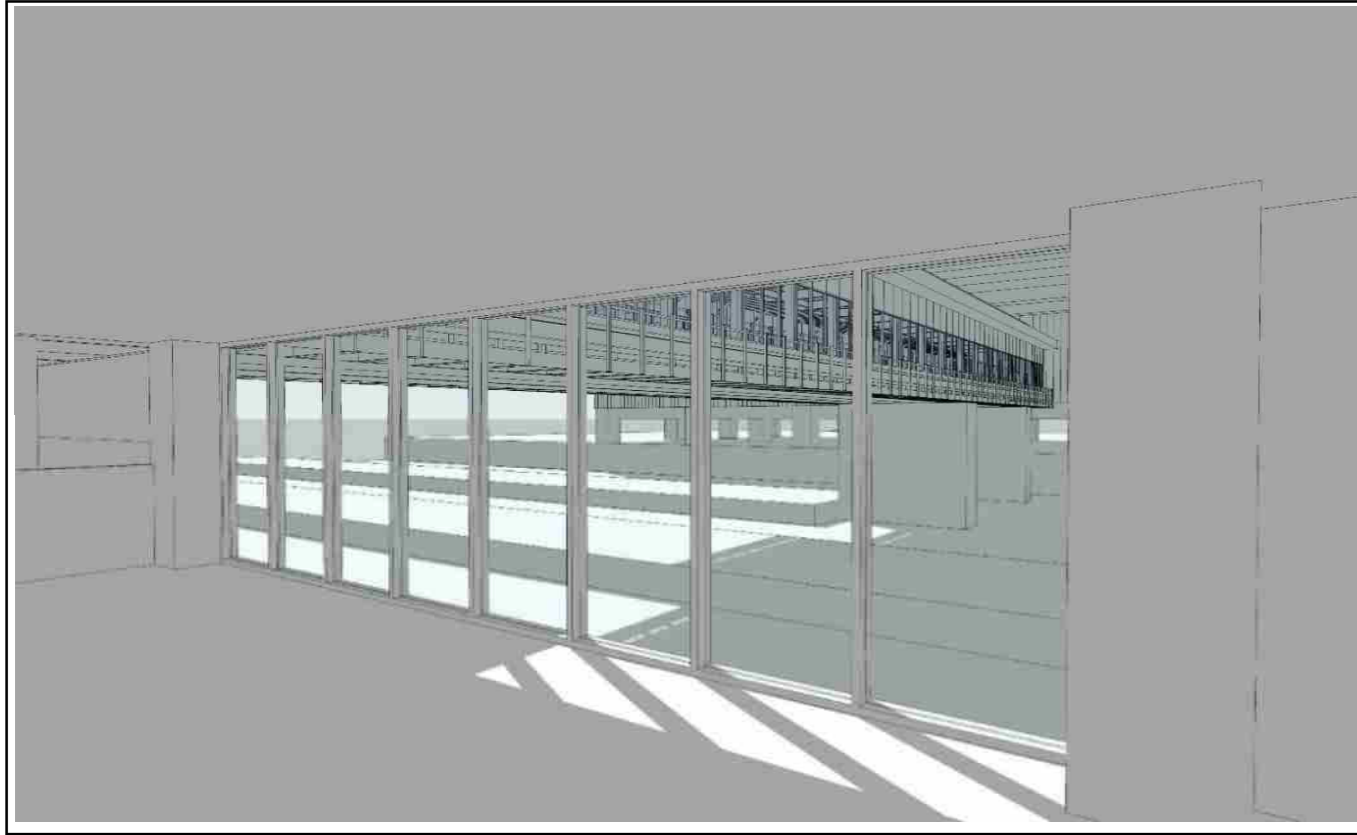


▲ 1階 階段正面

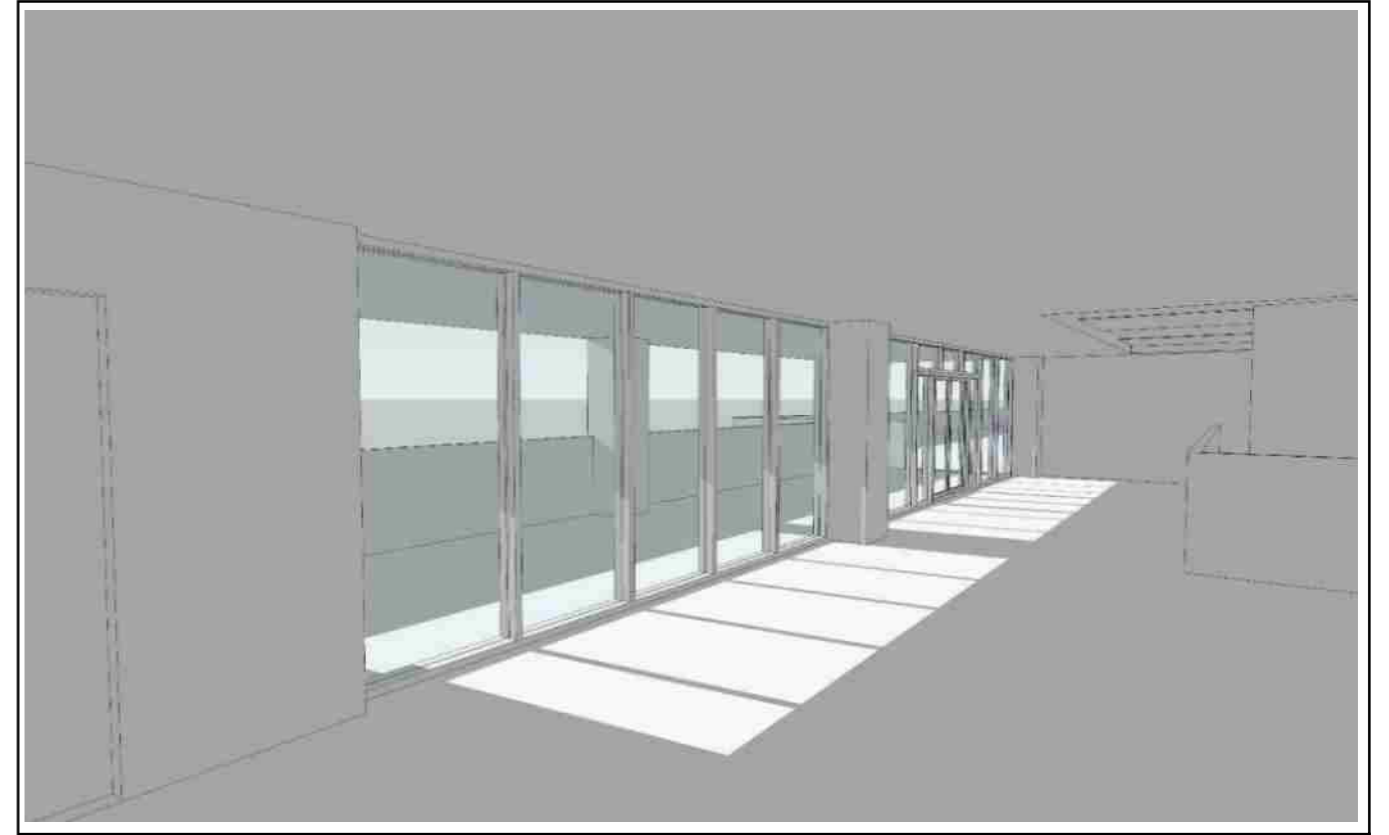


▲ 2階 階段踊り場越しの1階、2階の眺め

V、イメージパース 東口昇降棟B案 (3)



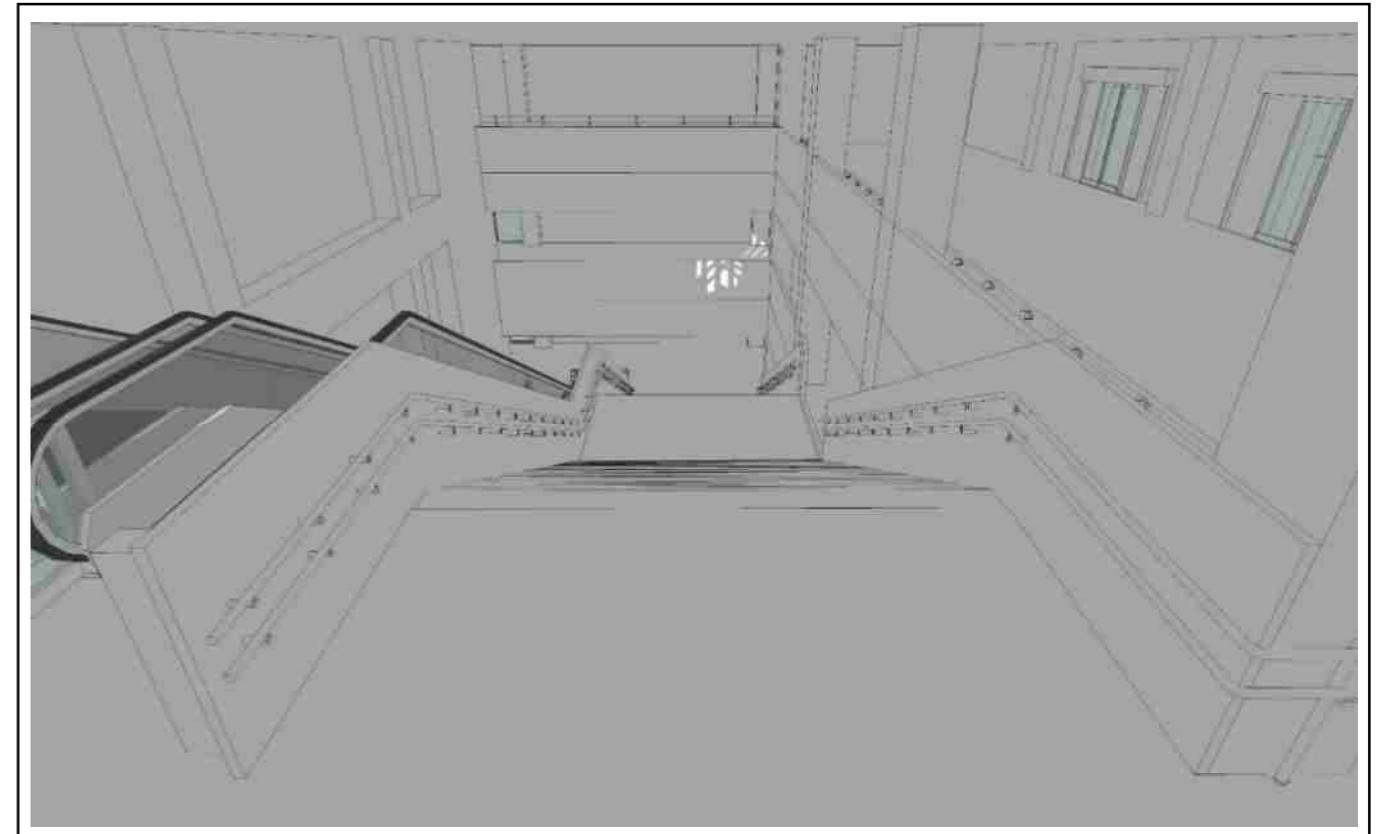
▲2階 窓越しの自由通路棟と線路の眺め



▲2階 テラス側の窓を見る

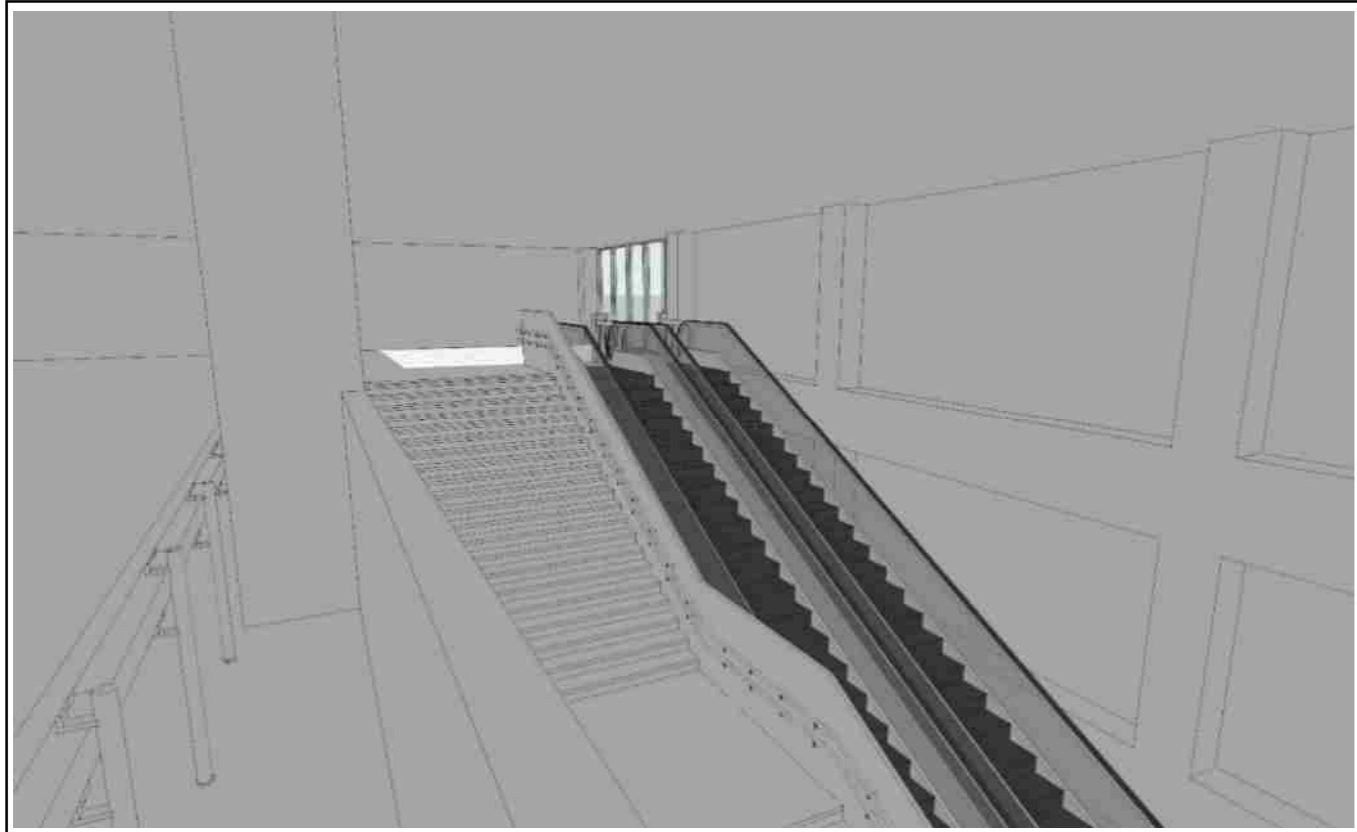


▲コンコース階 廊下眺め

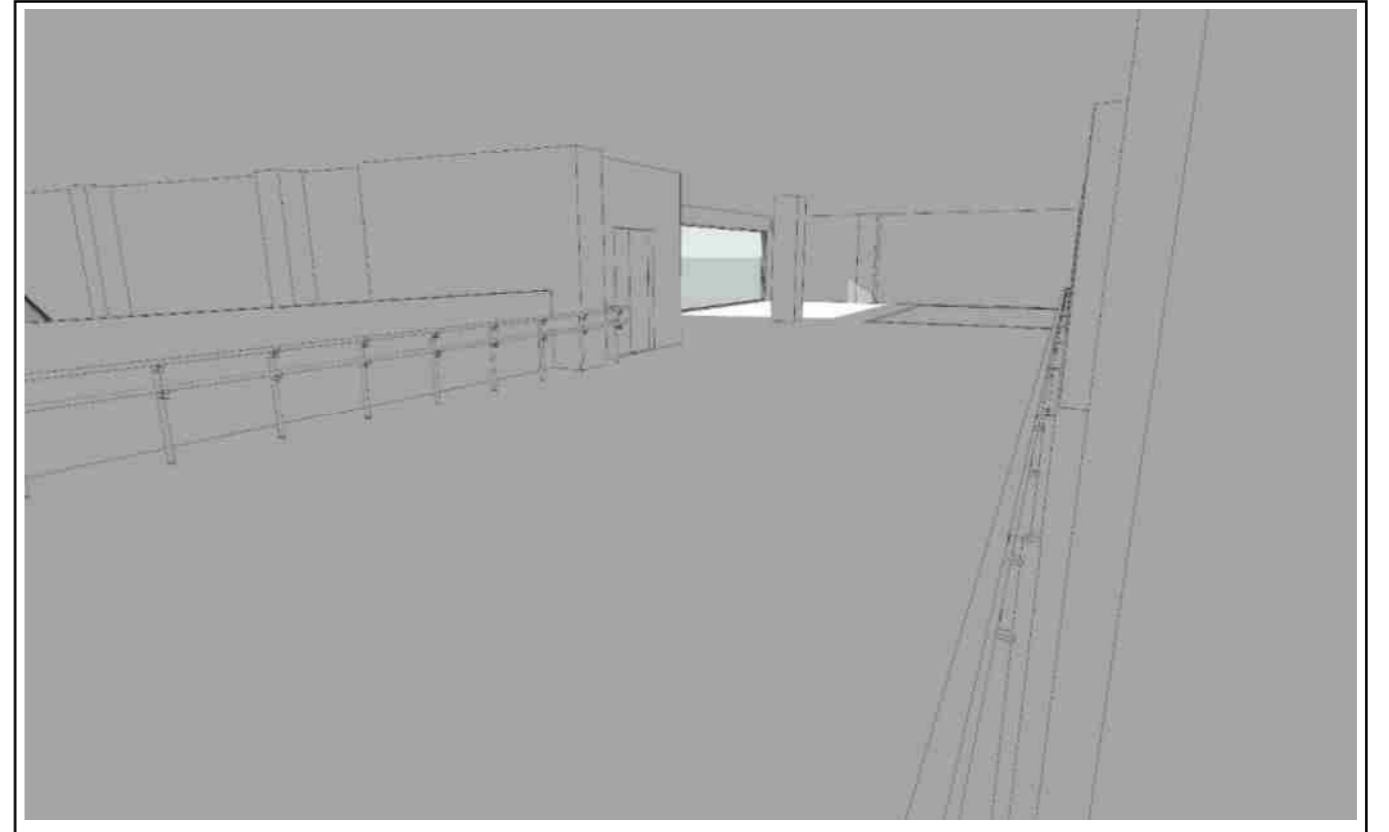


▲コンコース階 階段正面からの1階の眺め

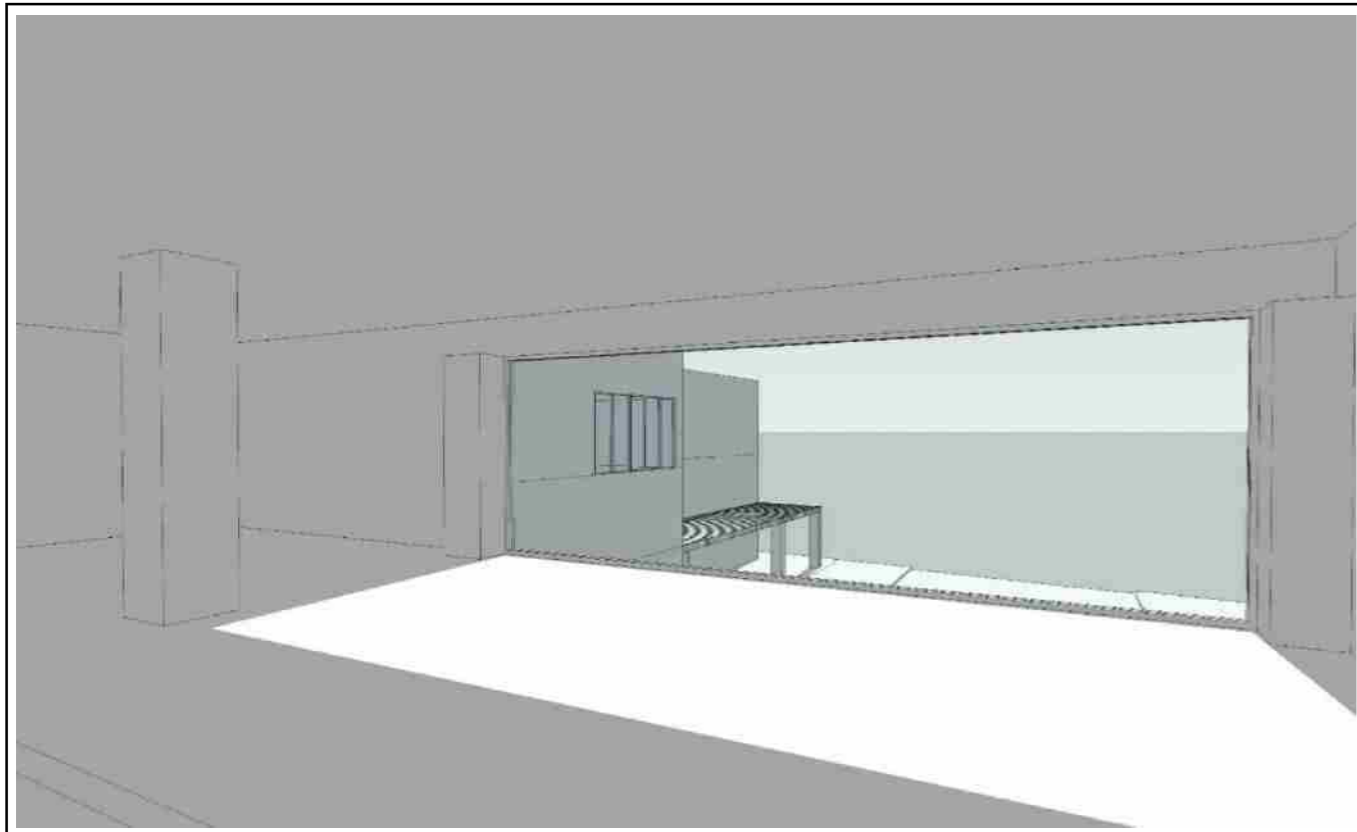
V、イメージパース 東口昇降棟B案 (4)



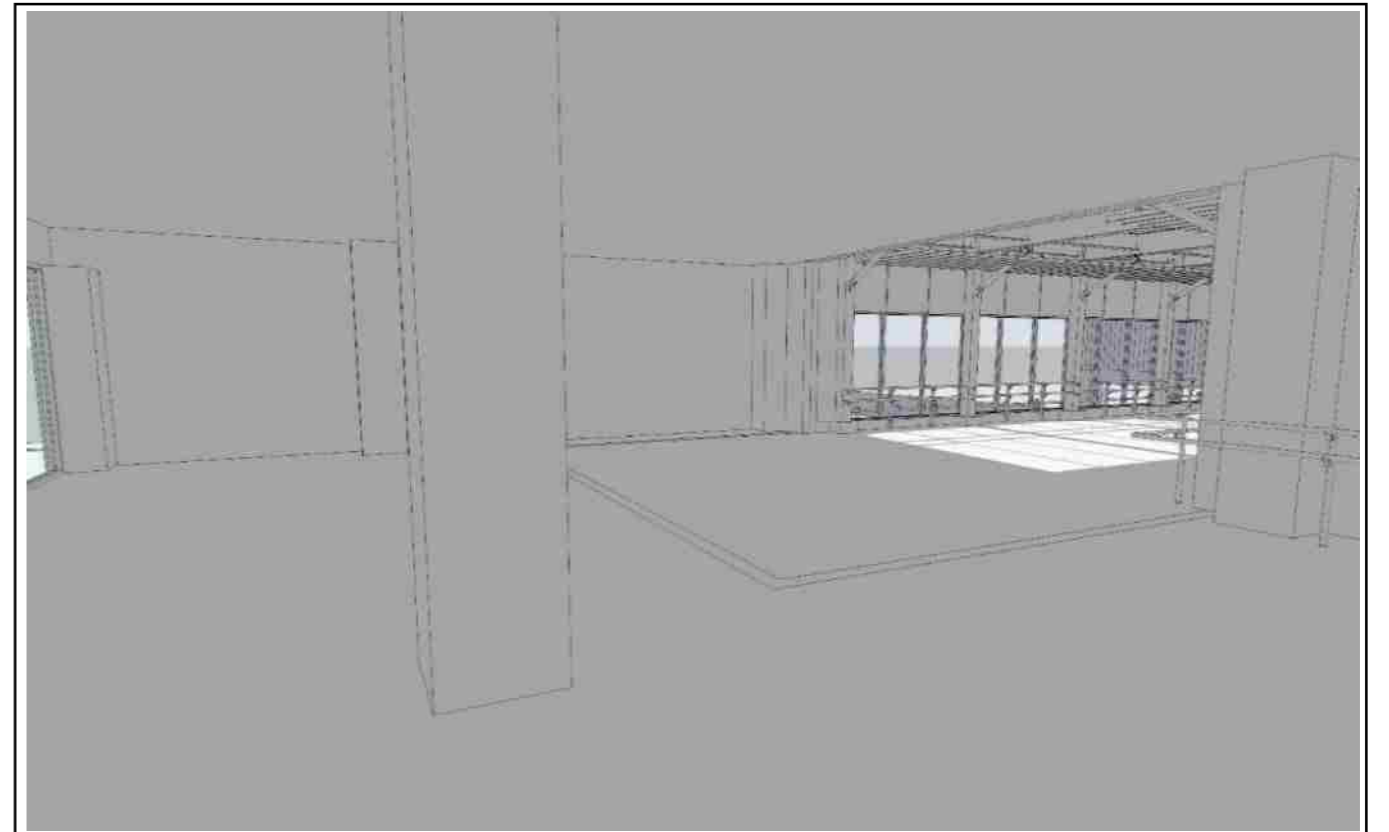
▲コンコース階 1階を見下ろす



▲コンコース階 展望テラス側を眺める



▲コンコース階 展望テラスから東口広場を眺める



▲コンコース階 展望テラスから柱と自由通路の眺め

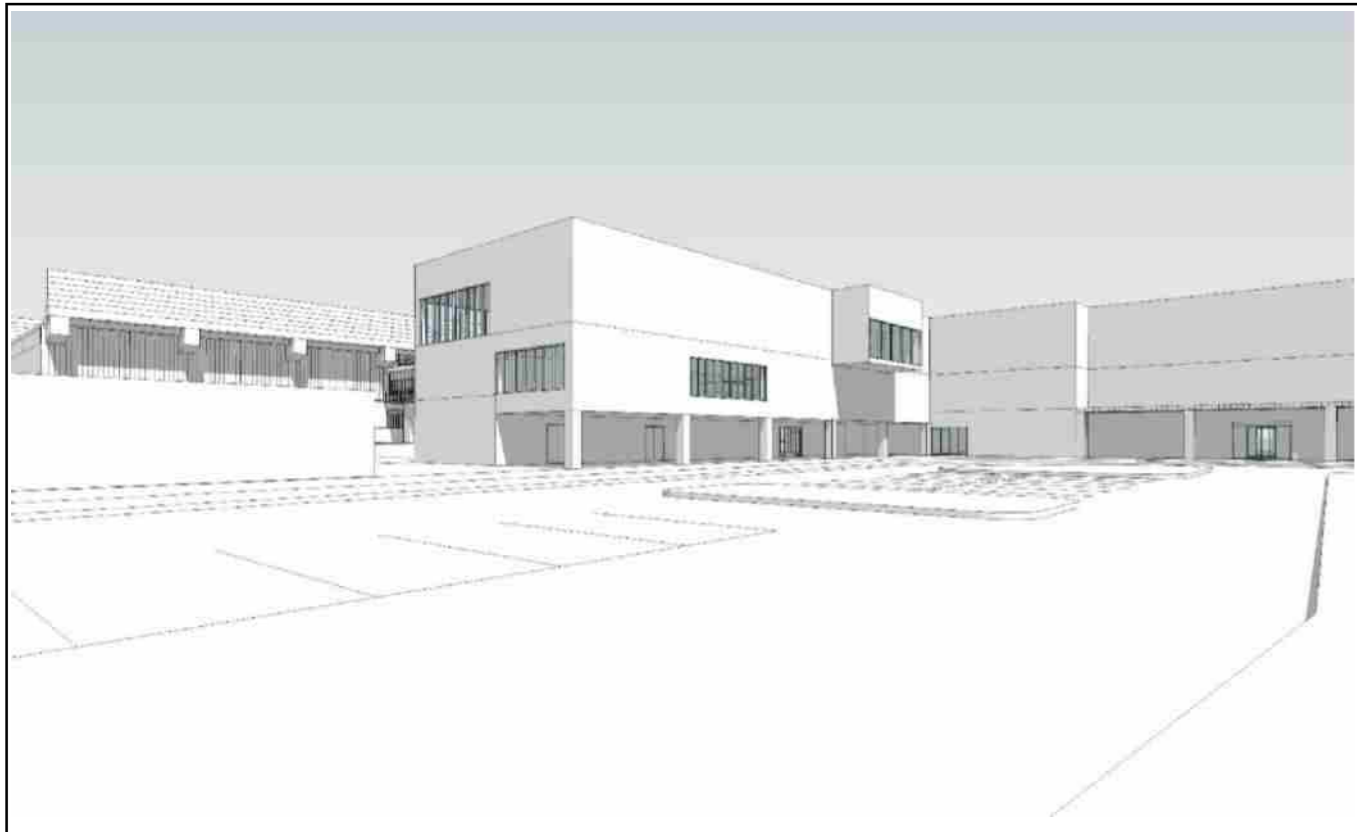
V、イメージパース 東口昇降棟C案 (1)



▲斜めからの鳥瞰



▲正面からの鳥瞰

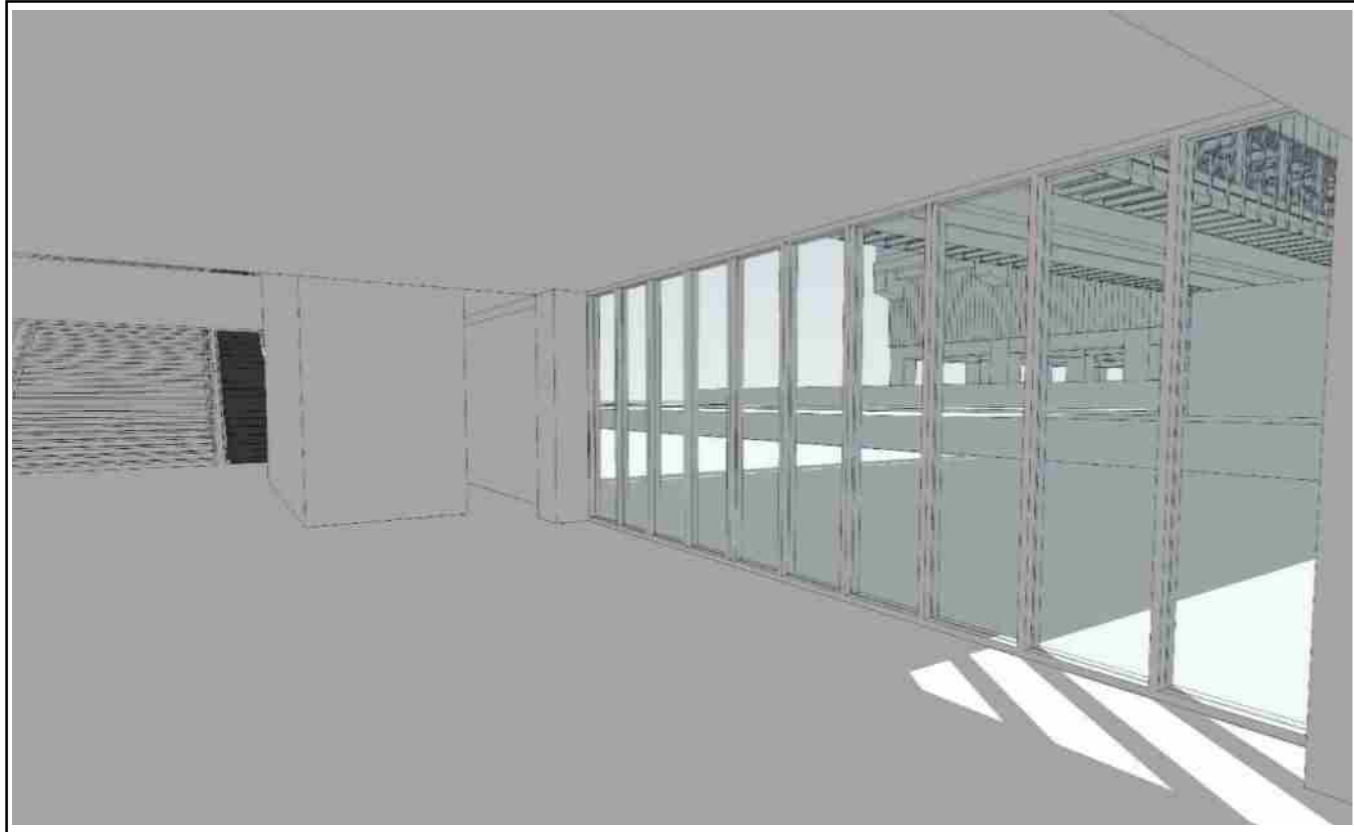


▲アイレベル 広場からの全景



▲アイレベル 正面からの全景

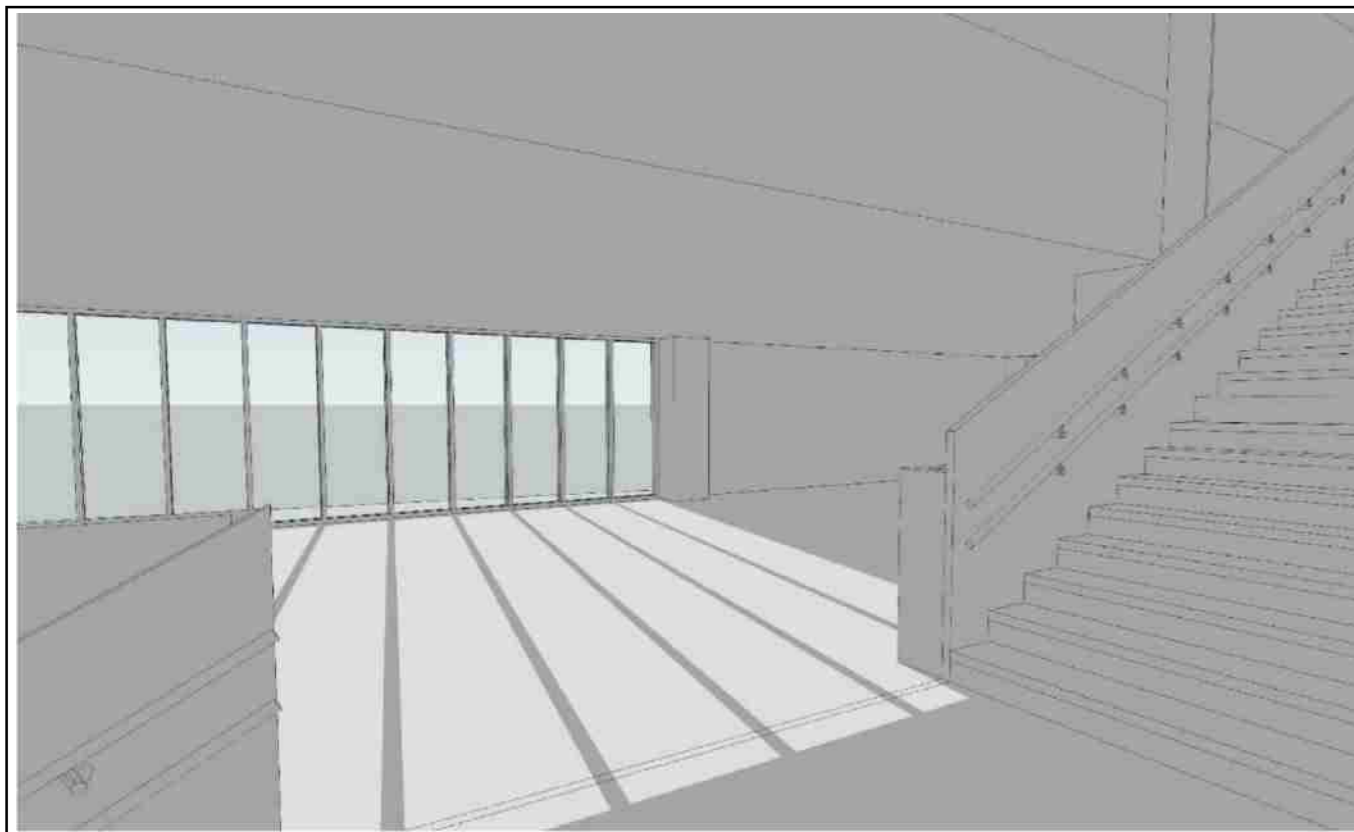
V、イメージパース 東口昇降棟C案 (2)



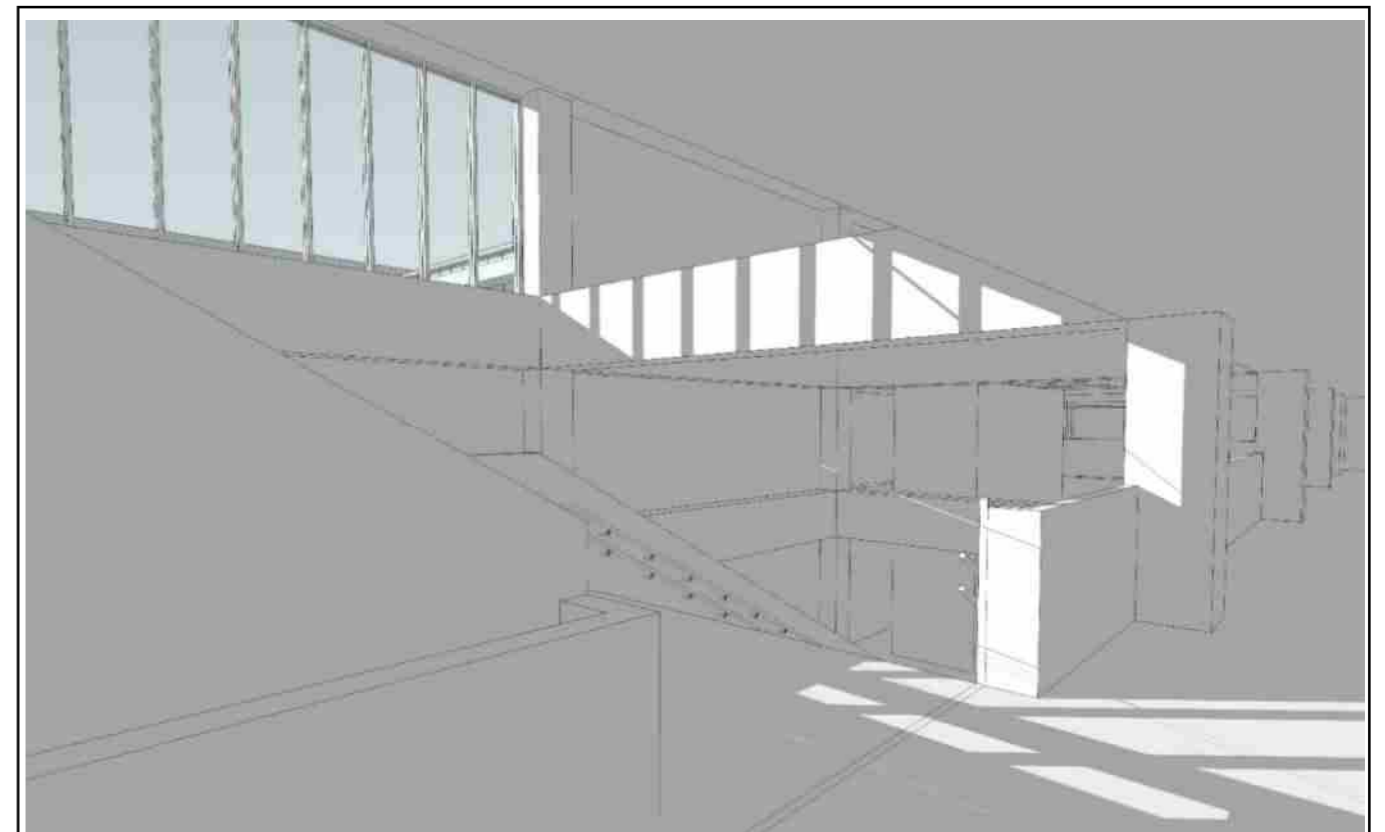
▲1階 エントランスからの線路の眺め



▲1階 階段正面

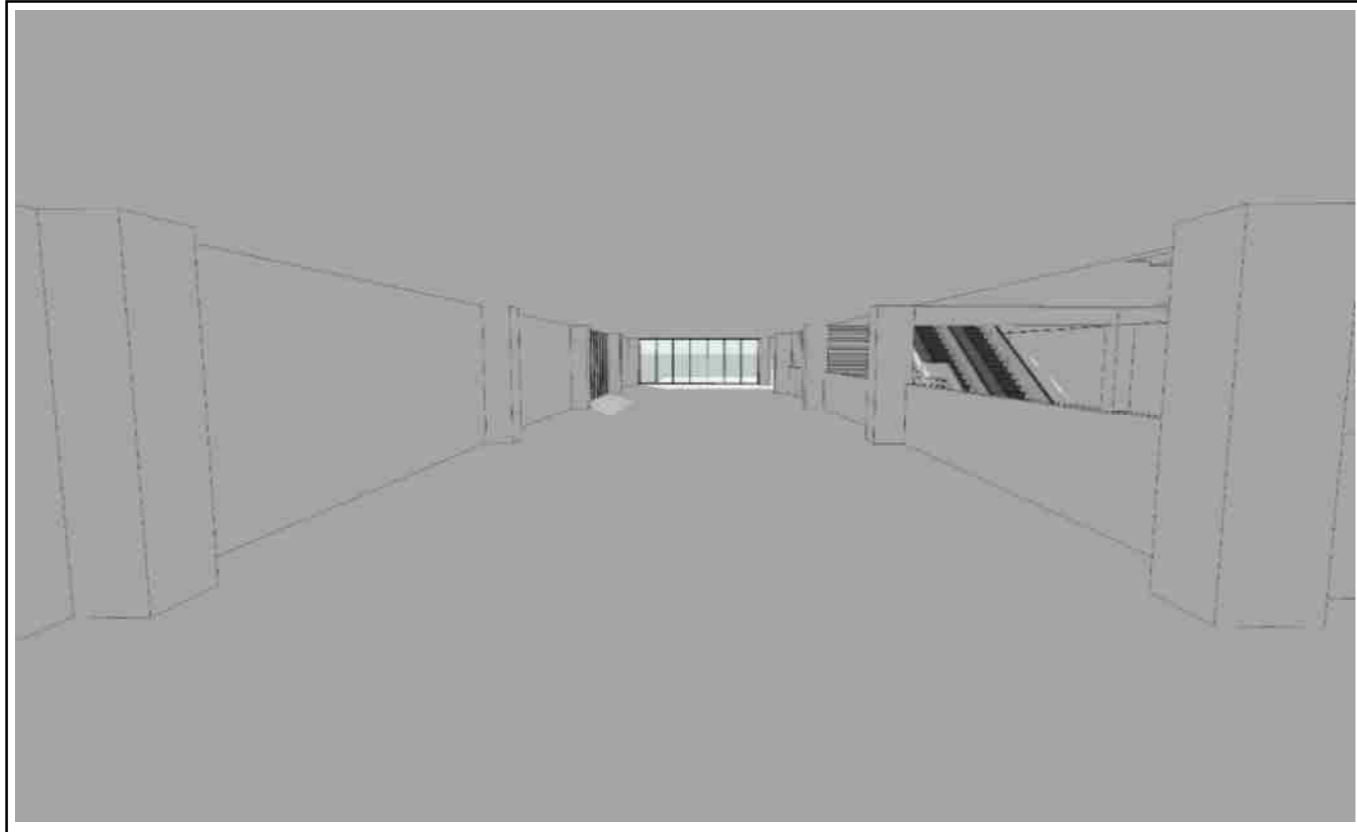


▲2階 階段踊り場から2階廊下を眺める

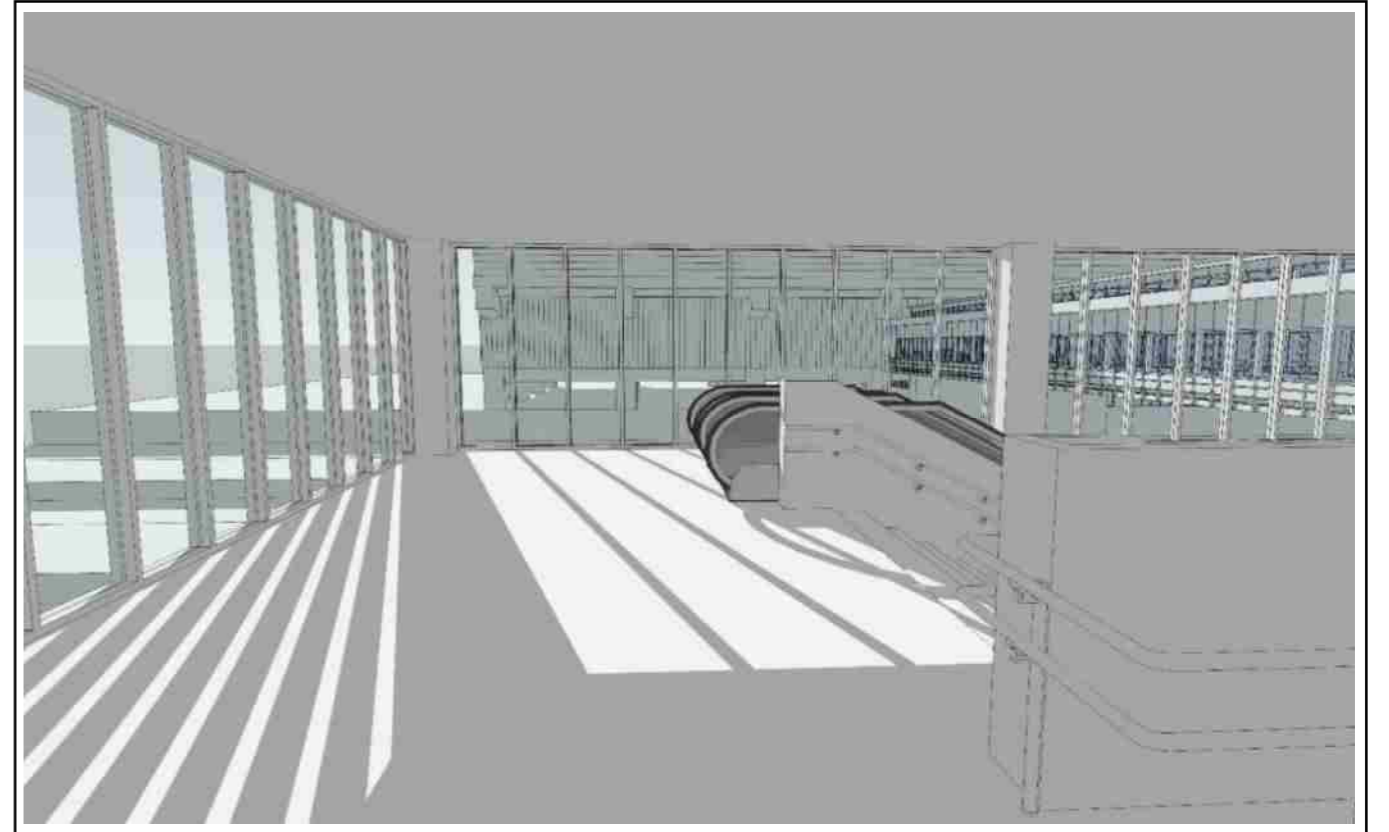


▲2階 階段踊り場越しの1階の眺め

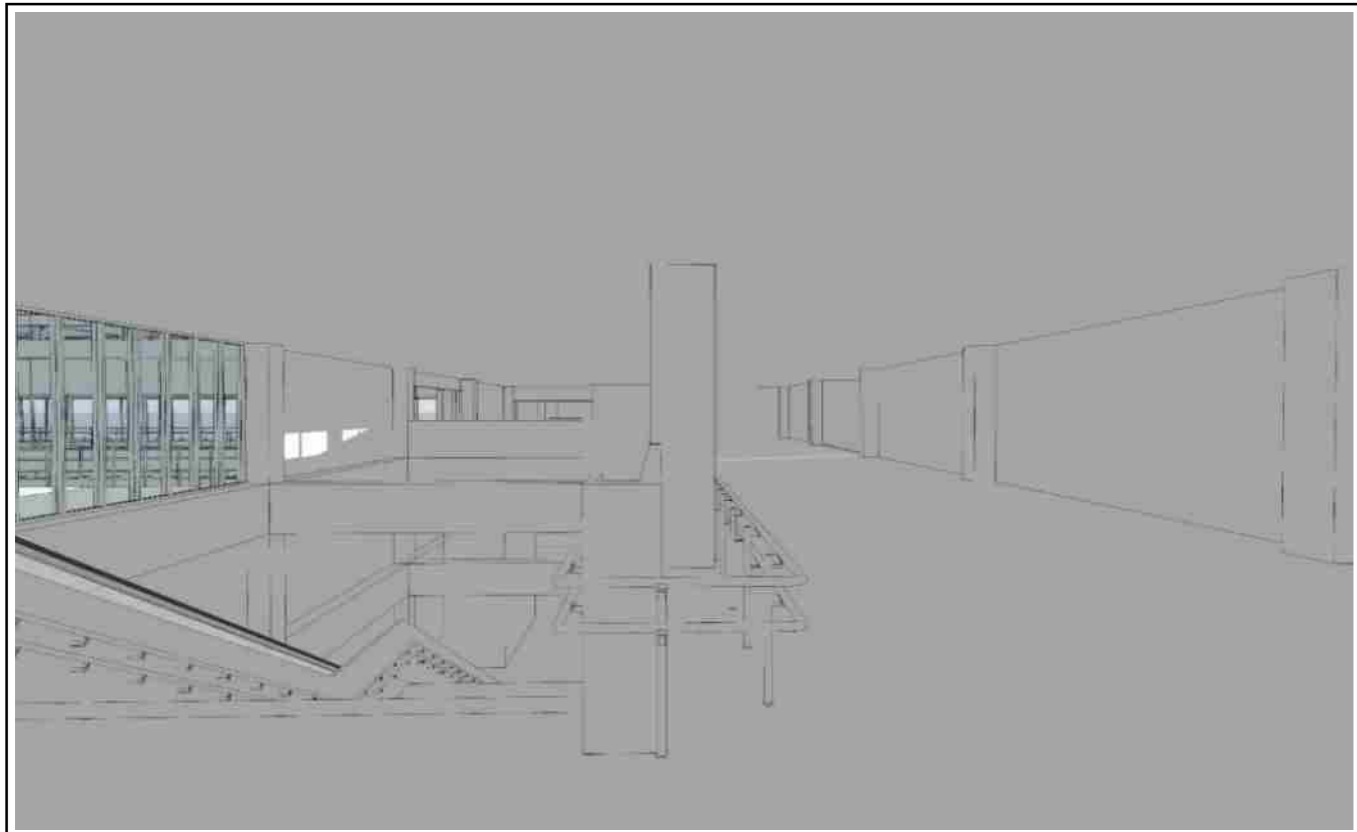
V、イメージパース 東口昇降棟C案 (3)



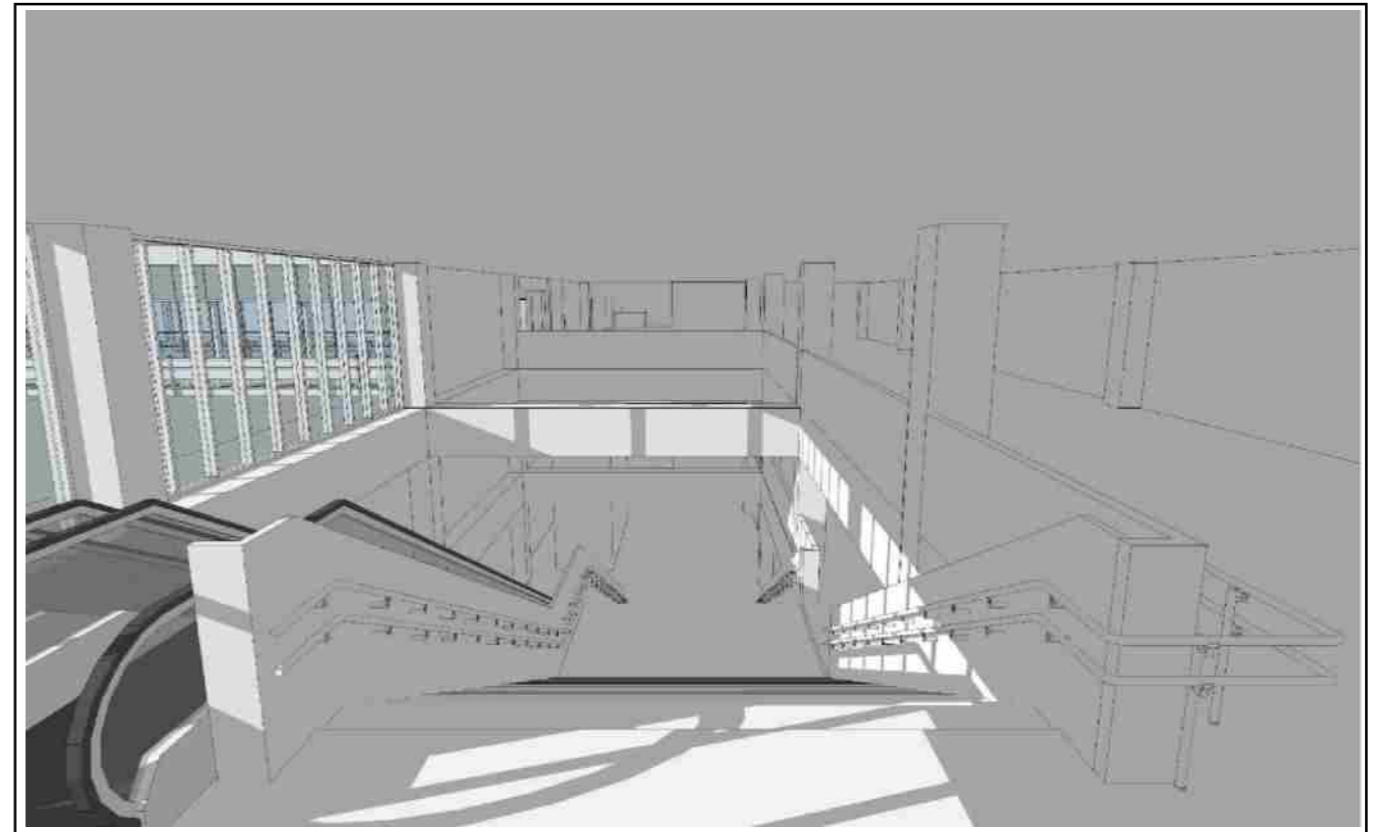
▲2階廊下眺め



▲コンコース階 窓越しに線路側を眺める

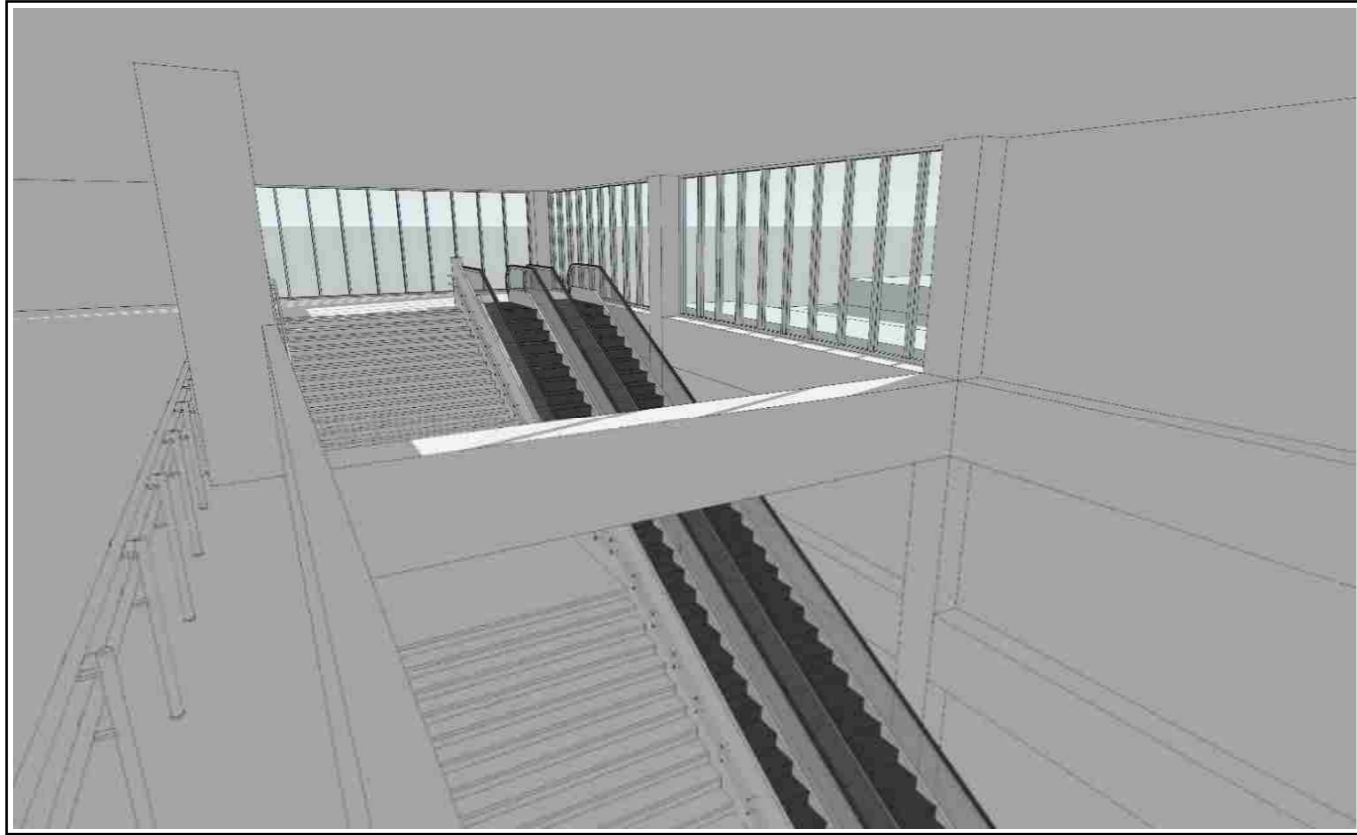


▲コンコース階 階段と廊下の眺め

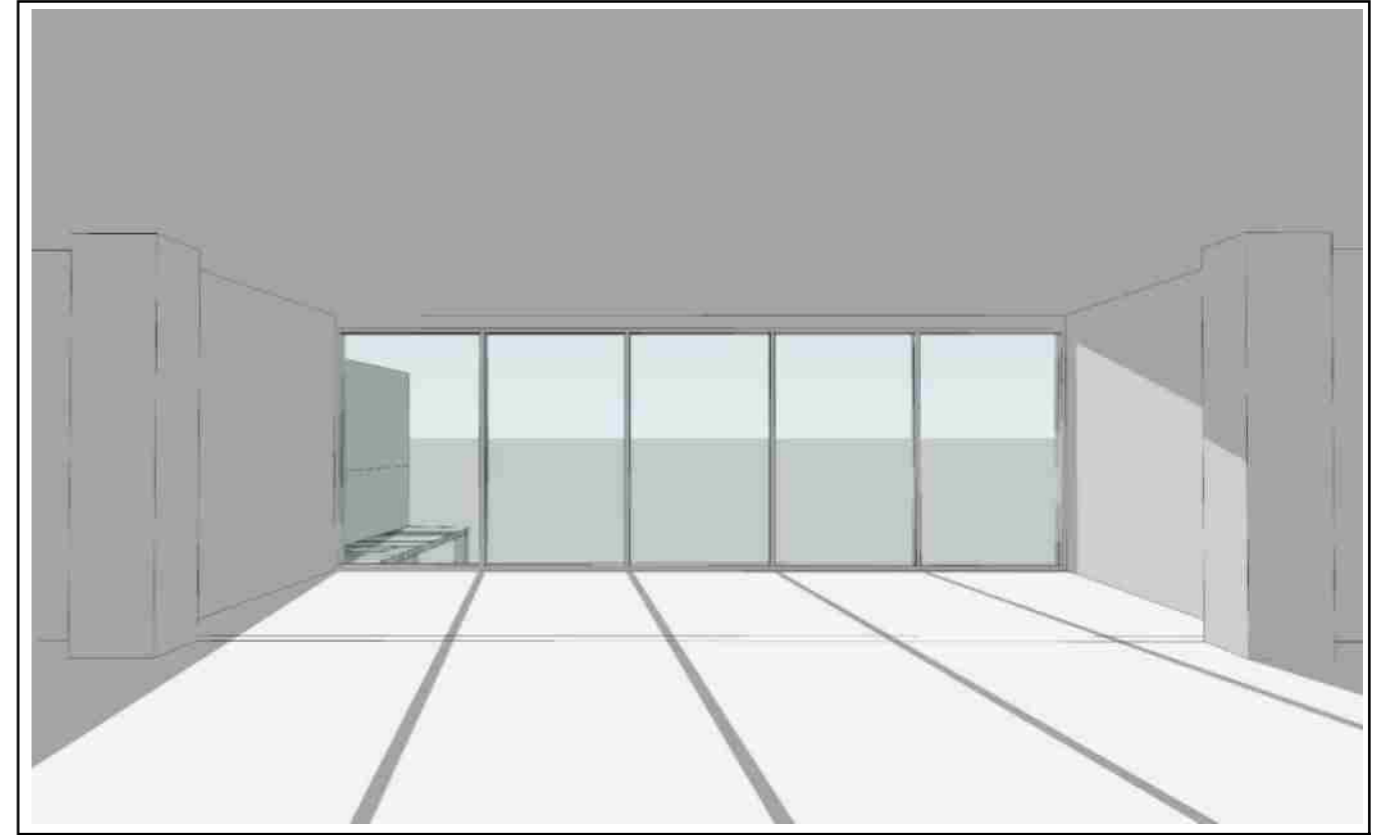


▲コンコース階 階段正面からの1階の眺め

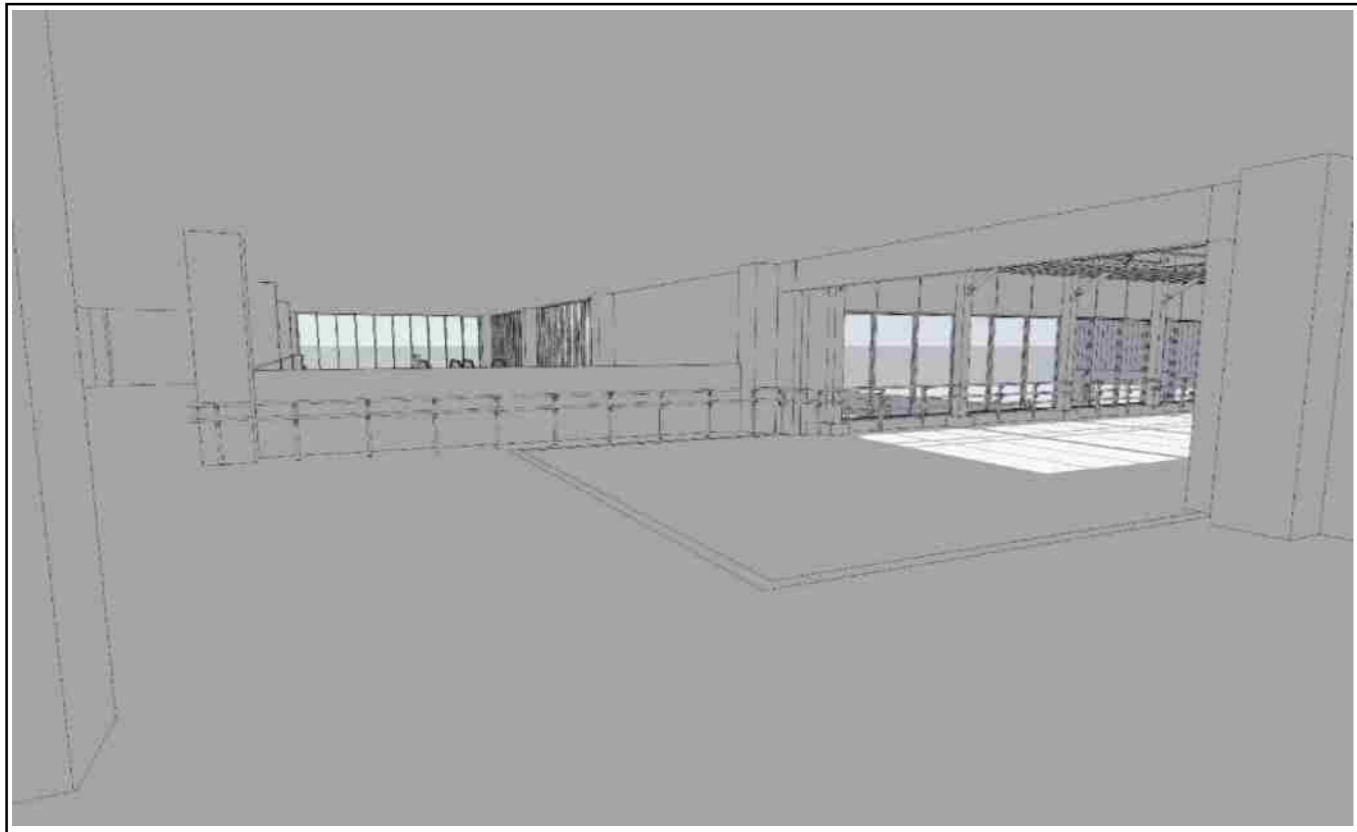
V、イメージパース 東口昇降棟C案 (4)



▲コンコース階 1階を見下ろす



▲コンコース階 展望テラスの眺め

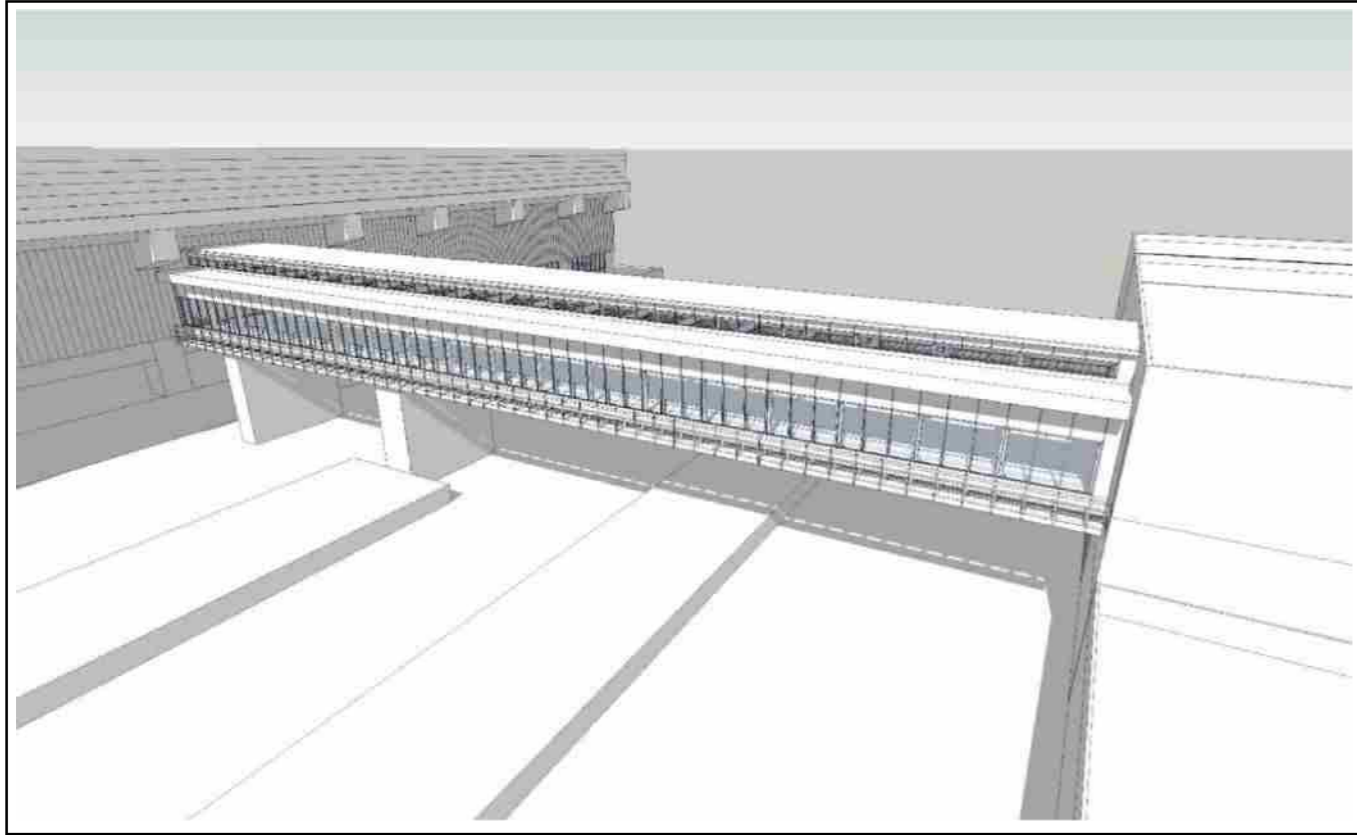


▲コンコース階 展望テラスからの自由通路の眺め

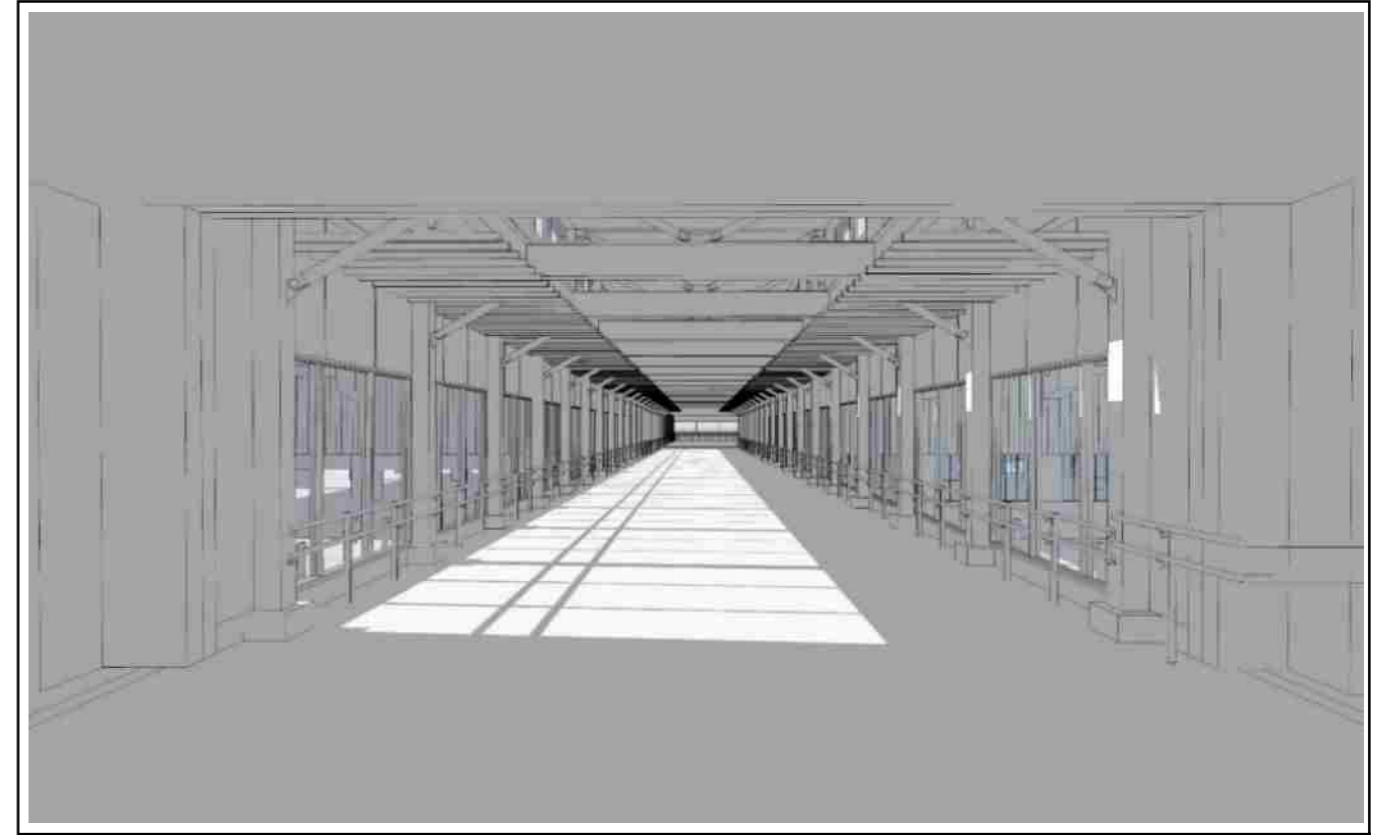


▲コンコース階 3階全体の眺め

V、イメージパース 自由通路棟



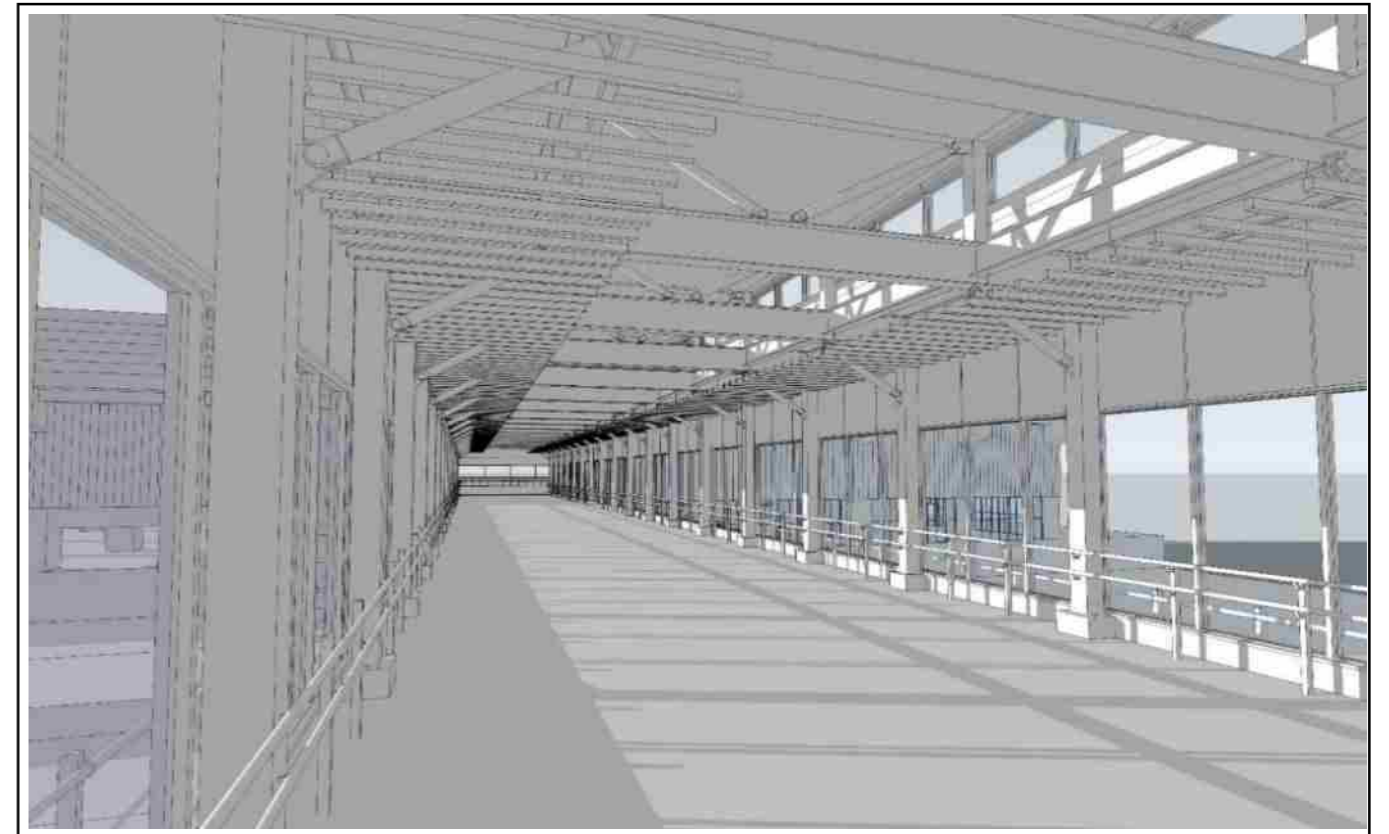
▲鳥瞰



▲東口昇降棟からの自由通路正面の眺め



▲天井を見上げる



▲斜めからの眺め

V、イメージパース 西口昇降棟A案 (1)



▲アイレベル 広場からの全景



▲アイレベル 正面からの全景



▲コンコース階 コンコース階全体の眺め

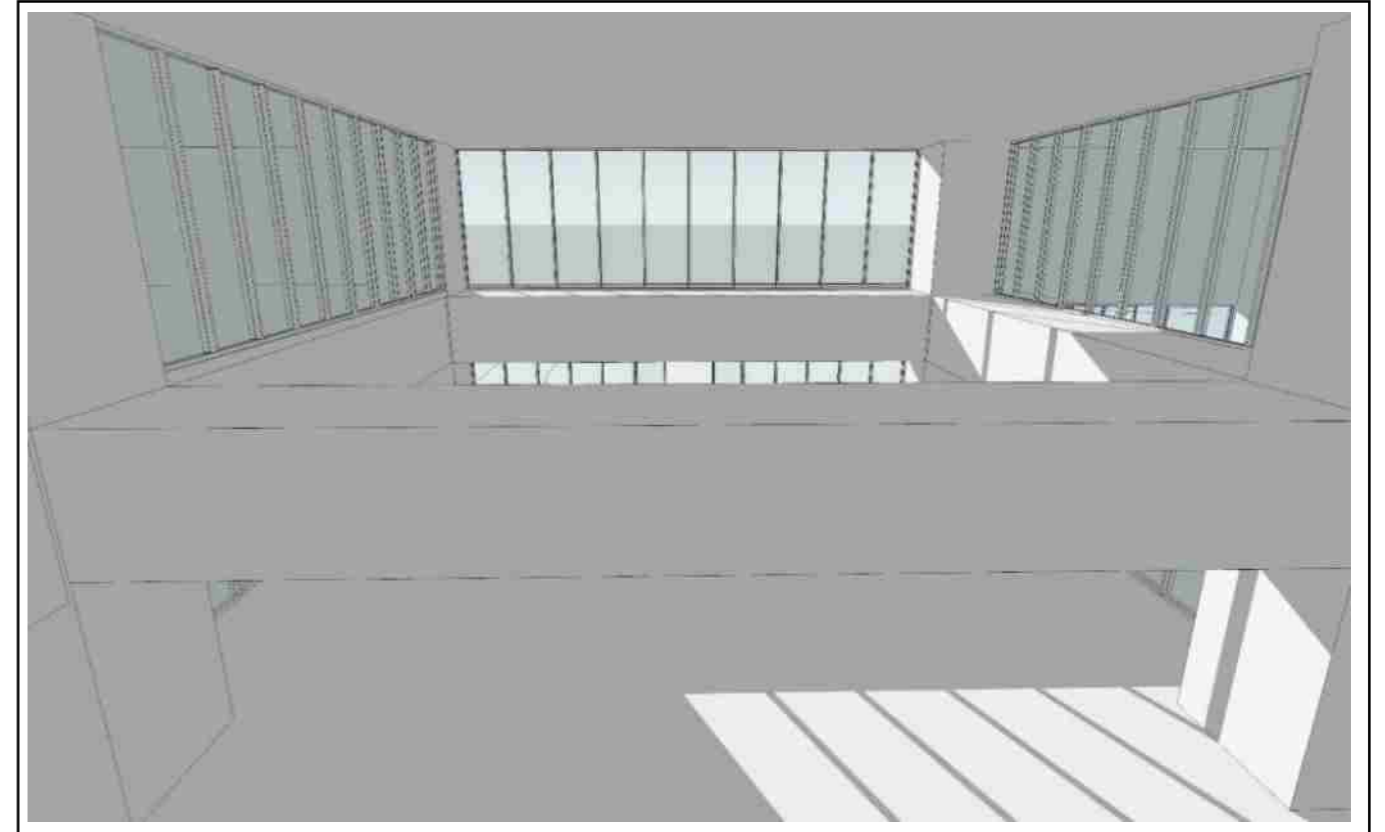


▲コンコース階 1階を眺める

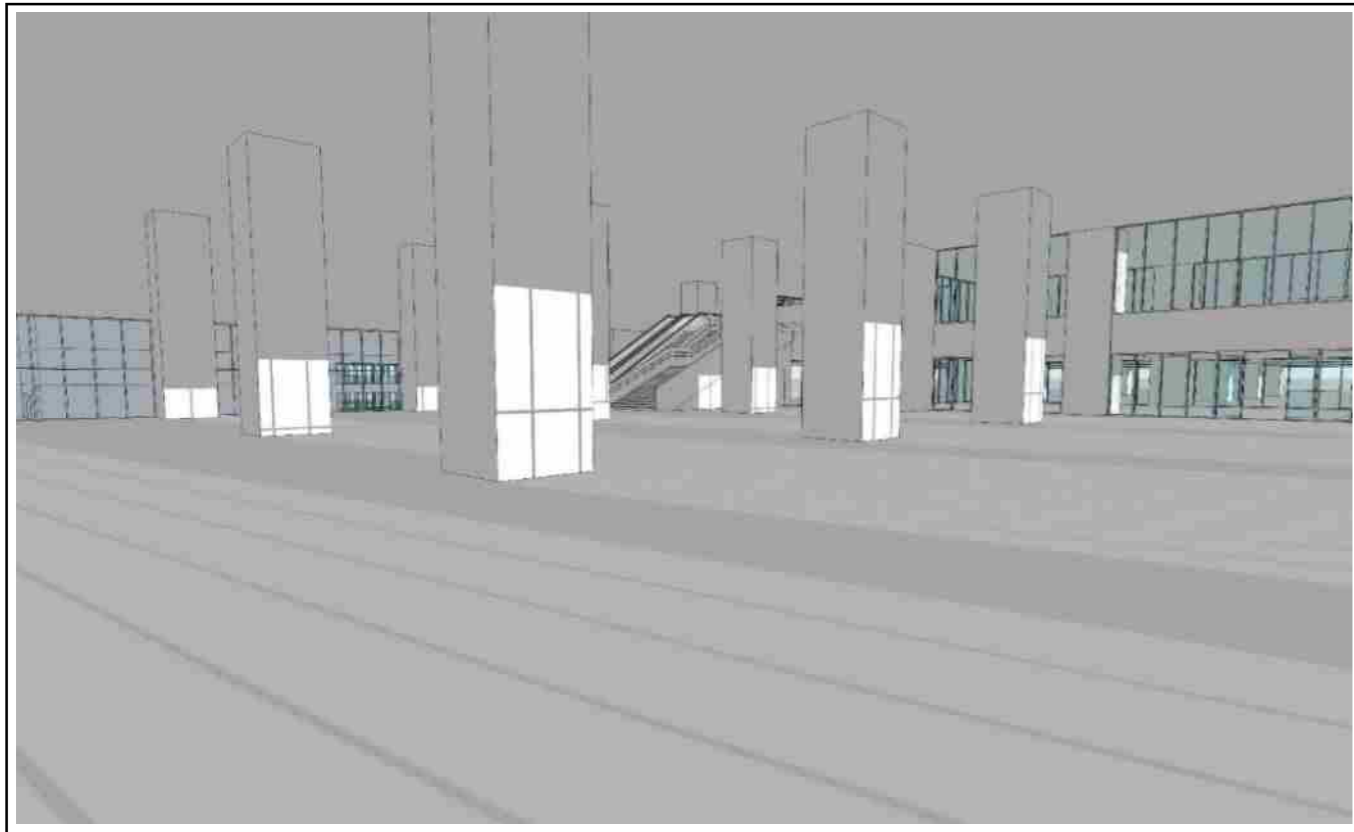
V、 イメージパース 西口昇降棟A案 (2)



▲コンコース階 階段正面からの1階の眺め



▲風除室



▲1階 西口広場側の全体の眺め



▲1階 階段側の全体の眺め

V、イメージパース 西口昇降棟B案 (1)



▲アイレベル 広場からの全景



▲アイレベル 正面からの全景



▲コンコース階 コンコース階全体の眺め

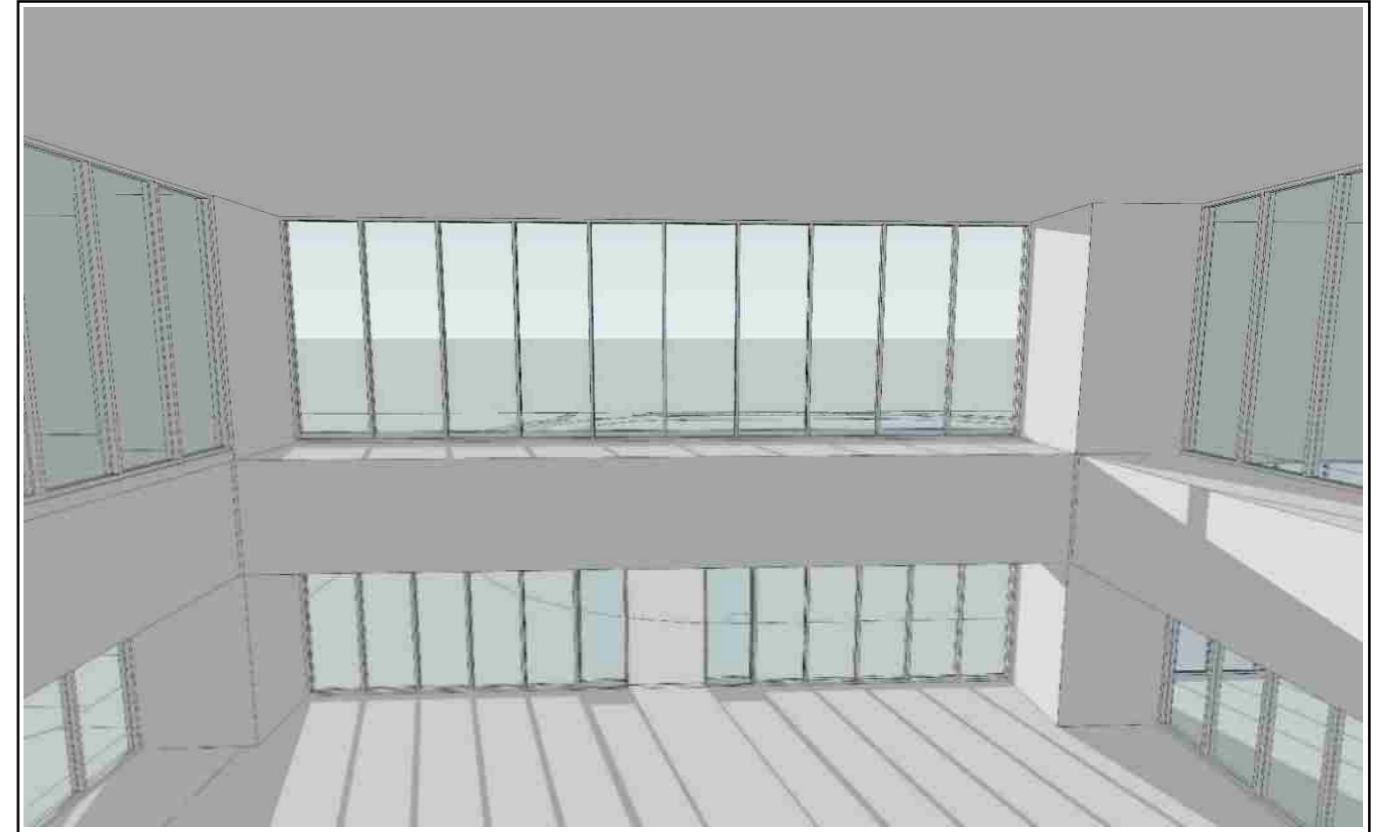


▲コンコース階 1階を眺める

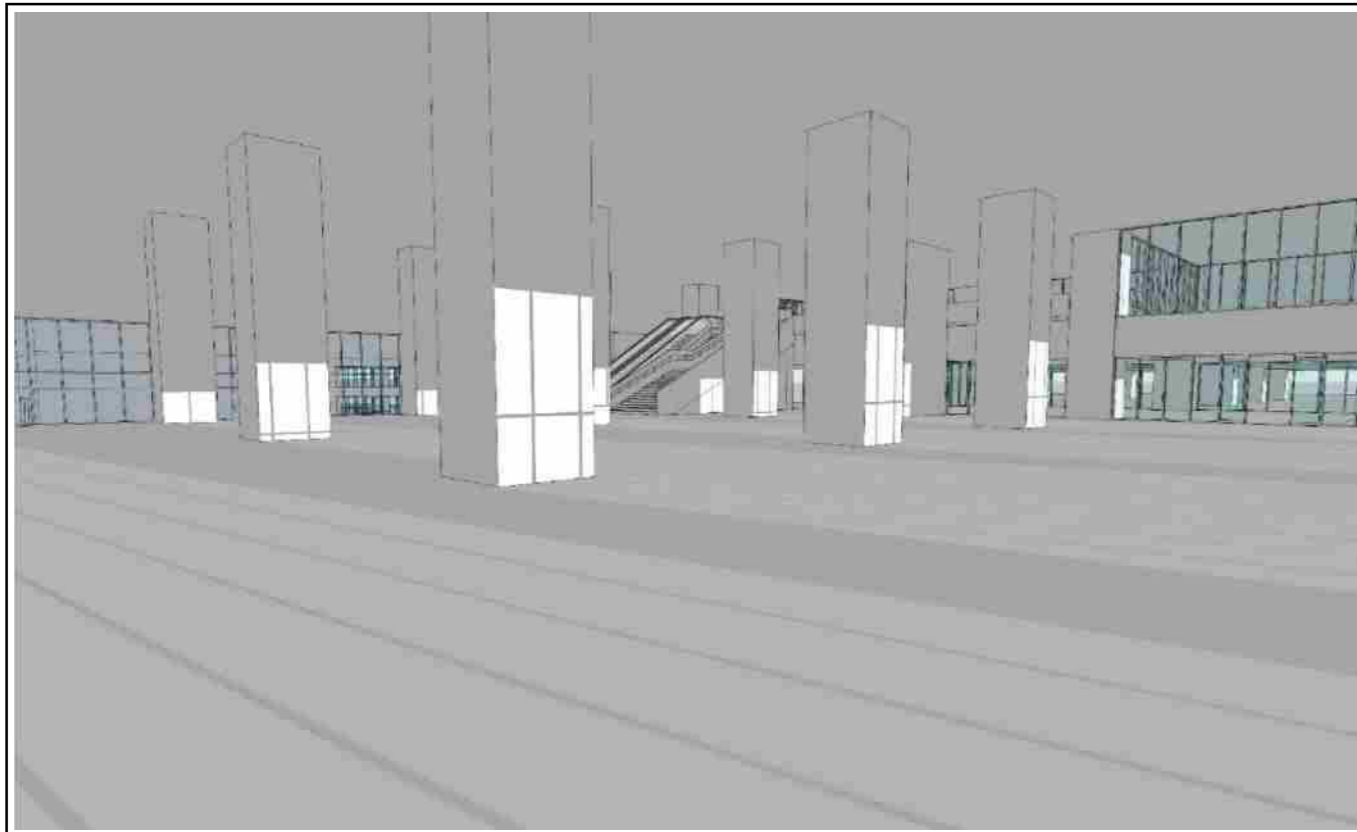
V、イメージパース 西口昇降棟B案 (2)



▲コンコース階 階段正面からの1階の眺め



▲風除室



▲1階 西口広場側の全体の眺め



▲1階 階段側の全体の眺め

V、イメージパース 西口昇降棟C案 (1)



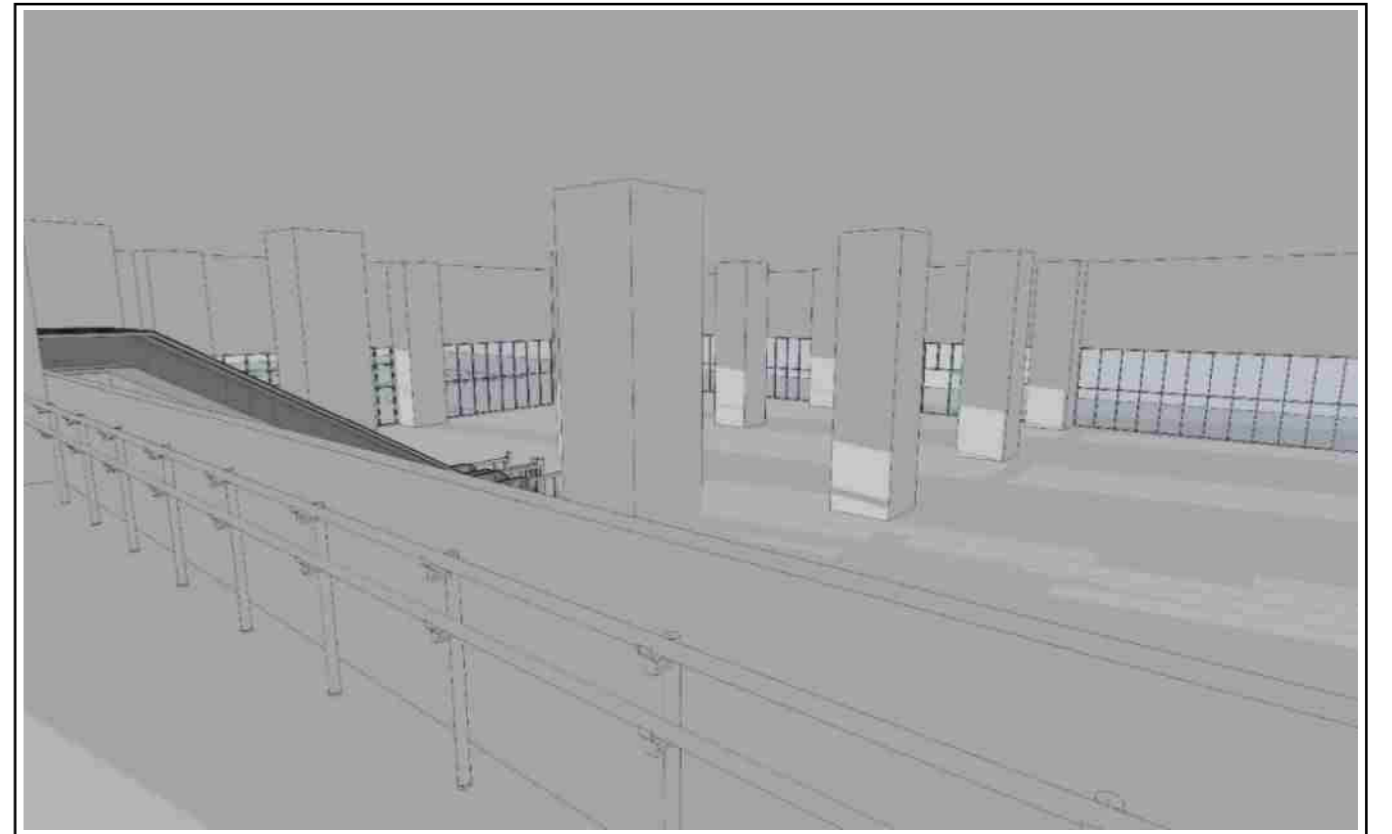
▲アイレベル 広場からの全景



▲アイレベル 正面からの全景

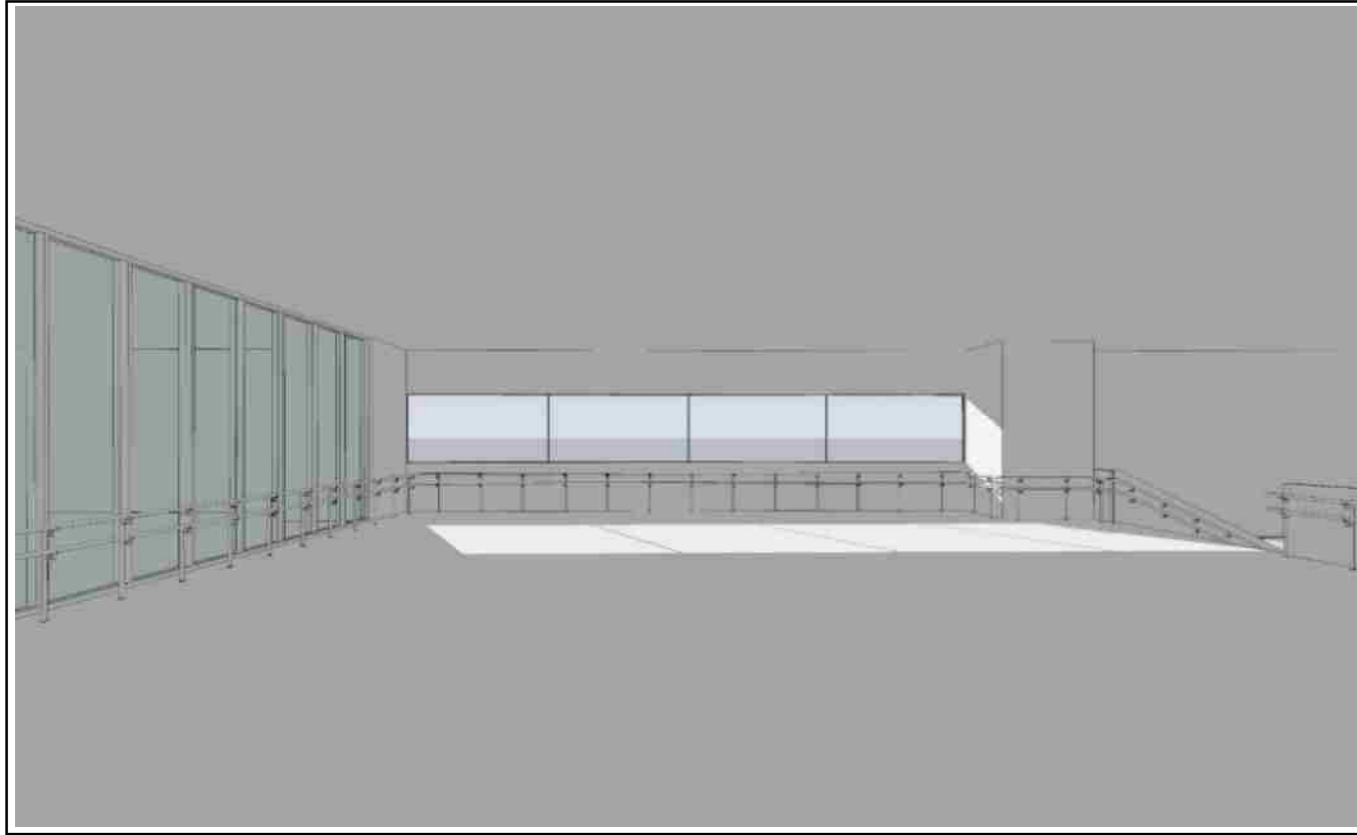


▲コンコース階 コンコース階全体の眺め

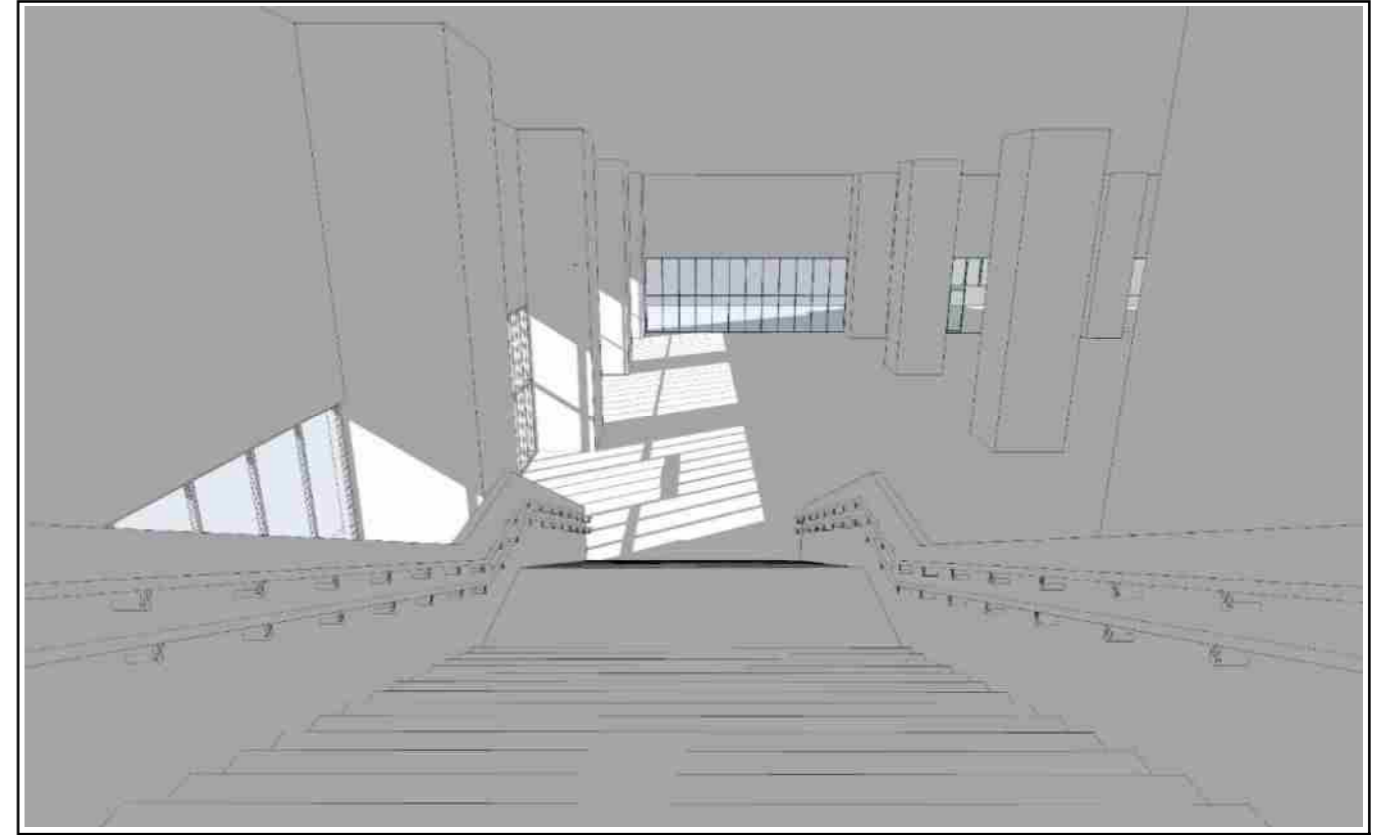


▲コンコース階 1階を眺める

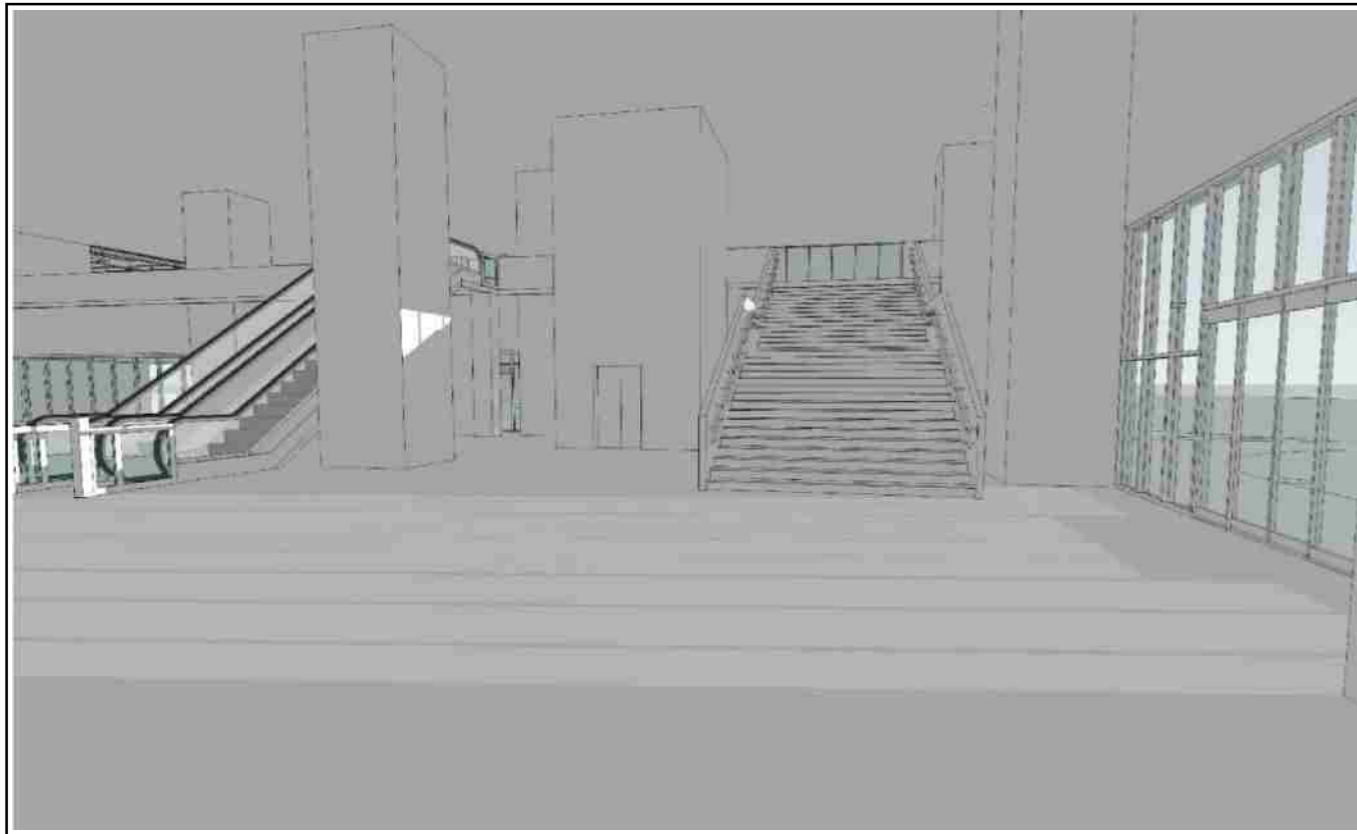
V、イメージパース 西口昇降棟C案 (2)



▲コンコース階 窓越しに西口広場側を眺める



▲コンコース階 階段正面からの1階の眺め



▲1階 階段側の眺め



▲1階 線路側の眺め